

# ね

…**ね**【終助詞】です だ のだ (志、鳥、鈴市、一、伊賀地方、伊、北、南) [会話] 何処い (へ) 行くネ、此処い 行くネ、あのかあ (子は) 泣くネまあ 言うてなあ。行きます言うのを 行くネ、泣きます 泣くネ 言うてなあ 食うネ 言うたりなあ。

**ねいお**【名詞】根魚 根付魚 常に岩礁近くに住み、移動しない魚 ねうお

**ねいごき** (値動) 【名詞】価格の変動 ねうごき [会話] **ねえ** (値) が 上り下り **ネイゴキな** (が) 有って **言うんかい** (言うのですか) 値動き **言わんと** (言わずに) **ネイゴキな** (が) してなあ 言うてなあ。

**ねうち** (値打) 【名詞】値を評定すること ねだんを定めること その物 人が持っている程度 真価 品位 [会話] **こや** (これは) **こんだけ** (これだけ) の、**ネウチャ** (は) **あられ** (有ります) 十円出しても **こや** 十円の**ネウチャ** **よれやどお** (沢山だ) 言うて。**こや** **なあ** (これは) **さんも** (三文) の**ネウチも** **ねえわれ** (有りません) 言うたりなあ、まあ **わり** (悪い) と **さいご** (その時)。

**ねえ**【名詞】姉 ねね ねえやん (志 (国府、磯部、船越、甲賀、立神)、鳥 (桃取、加茂、長岡、答志) 伊賀地方) [会話] **ネエヨ** 言うて、昔**や** (は) **ネネヨ** **言いおったなあ** (言っていました)。**あねよ** (姉さん) **言わんと** (言わずに) **ネネヨ** 言うて。**ネネヨ** とか **言うな** (のは) **言うけど** (けれど) **ネエヤン** **言うな** (のは) **よけ** (あまり) **言わらった** (言わなかった)。

**ねえ** 無い (志 (御座、鶴方、磯部)、鳥 (坂手、神島)、桑市、鈴市、一、松、多、張、度、伊、南) [会話] **なんも** (なんにも) **ネエヤんかあ** (無いではありませんか) 言うて、無い事を **なんも** **ネエよおん** (無いように) **なってたれ** (なって行った)。**無いわれ** (有りません) **言わんと** (言わずに) **ネエよおん** **なってた** (なって行った) 言う。**ネエよおん** **なってたよってん** (から) 又 **入れとかな** (ておかなければ) **はざんなあ** (いけない) とか 言うて。**なんも** (何も) まあ **ネエねよお** (有りません、無いのです) 言うて、**なんも** まあ **ネエわら** (無い) とか言うて。

**ねえ**【名詞】1) 根 高等植物の基本的栄養器官の一つ 普通地中に伸びて植物体を支持し水や養分を吸収する (志 (布施田)) 2) 人の本来の性質 3) その結果

を導いた原因 理故 もと [会話] 1) 草やきい (木) の**ネエ** (根)、**ネエな** **えろおて** (大変で) **なんも** (なんにも、少しも) **出来やせんよって** (出来ないから) **ひとばか** (少し) **ネエ** **ほぜったらな** (掘ってやらなければ) **はざんわれ** (いけない) 言うて。**ネエな** (が) **張って** (伸びて、茂って) 来ると、**つくりもん** (作物、農作物) **な** (が) **出来やせんもんで** (出来ないのです)。**尻い** (へ) **ネエな** (が) はえて言うて、**しろね** (白根、先の部分) **な** (が) はえて 言うて、**尻** **なあごお** (長く) **しとると** (して居ると) **白根な** はえて **いごかせんない** (動かないのだ) 言う。2) **ネエ**、**しょおね** (性根、性質) **な** (が) **わり** (悪い)、**あや** (彼は) **ネエな** (が)、もとの**地金な** (が) **わりよって** (悪いから) 言うて、**ネエな** **わりて** (根が悪くて) 言うのを もとの**地金な** (が) **わりよって** 言うて。もとの**地金**に**や** (には) **しゃびな** (錆が) 浮く言うて、**あや** (彼は) **なん言うたてて** (何を言っても) **ネエが** **わりねよってん** (悪いのだから) 言うて、**言うたてて** (言っても) **急にや** (には) **治らせんわれ** (治りません) **ネエな** (が) **わりもん** (のだから) 言うて。

**ねえ**【名詞】値段 価値 (志、桑市、三、鈴郡、鈴市、一、久、松、多、伊賀地方、度、北、尾、南、熊) [会話] **煤竹な** (が) **どいらい** (大変な) **ネエな** (が) **しおったの** (して居たのです)。

**ねえかあ** 有りませんか 無いですか [会話] **とらだ** (戸棚) の **とつくり** (徳利) 振って見よ、まだ **有るか**、**まあ** (もう) **ネエカア**、**なけな** (無ければ) **こなか** (へそくり) で **こおて来い** (買って来い)。

**ねえかける** 高値をつける [会話] **ネエ** (価) **ヲカケル** 言う事を、**あや** (あれは) **どいらい** (大変) 高下駄 **履いとんねどお** (ているのだ) 言うて。

**ねえから**【副詞】始めから 根本から 根底から すっかり 全部 根こそぎ ねえからはあから参照 [会話] **ネエカラ** **はあ** (葉) から **ごんぼ** (牛蒡) 掘り**やなあ** (だ) **あや** (彼は) 言うてなあ。物をなあ **こおした** 言うとき**さいご** (その時)、それから **なとすんねど** (どうするのですか) 言うて、そして **こして** (こうして) 言うて、また **それから** **なとすんねど** 言うのをなあ、最後迄なあ、とことんまで まあ **尻取りするくらいや** (です)。**ネエカラ** まちごとの

事 言うとか、ネエカラ まちごとのもんなあ (間違  
って居るから) そや (それは) もと (始め、根本) か  
ら 直してかな (て行かなければ) はざんわれ (駄目  
だ) 言うたり、土台な (が) わり (悪い) と ネエカ  
ラ わりもん (悪いから) 言うて。

**ねえからはあから (根から葉から)。** **ねえからはあから  
ごんぼほり** 【俚諺】 何から何まで 根っから 葉から  
は、根からの類推で添えた語 根からを強めた語  
[会話] ネエカラハア (葉) カラ ゴンボ (牛蒡) ホ  
リや (だ) 言うて、そや (それは) どうか 言うて  
そや そおやれ (そうだ) 言うて、又 そや なんか  
(なんですか) どげなんか (どんなのですか) 言うて  
尋ねんのを (尋ねるのを) ネエカラハアカラ ゴンボ  
ホリで 言うて。ゴンボホリで あや (彼は) すかん  
なあ (好きでない、嫌いだ) 言うて。ゴンボホリでま  
あ あや (彼は) ネエカラハアから言うて来て ほん  
(本当に) おとっしや (面倒だ) すかんわれ (嫌だ)  
言うて、尋ねんのを (るのを) ゴンボホリりや (で  
す)。

**ねえきってく** 1) 寝込んでしまう 熟睡する 2) 寝  
たまま死んで行く 寝流れて行く [会話] ② こお  
(子供) もおけると (産むと) 一週間の間 ねやすと  
(寝させると) はざん (いけない) ネエキツテクト  
はざん 言うて 夜伽ん (に) いて (行つて) 親、兄  
弟な (が) 枕もとで 喋つて しとりおった (してい  
ました)。

**ねえけど** 無いけれども

**ねえごし** 【副詞】 根こそぎ 根も残さずすっかり抜き取  
る事 転じて余す所無く全部取り除く事、余す所なく  
ことごとくの意で副詞的に使用される ごし、ごと、  
共、名詞についてその物と一緒にの意を表す ぐるみ  
[会話] ネエゴシ 持てたれ (持って行つた) 言うて、  
ネエゴチとも 言うし (言います)。ごっそり 持て  
たり (持って行つたり) 盗られたりすると ネエゴシ  
盗られたよおとか、ねだごし くたた (喰つてやつ  
た) とか。

**ねえごち** 【副詞】 根と共に 根こそぎ ねえごしに同じ  
[会話] ネエゴチ ほぜつてたない (掘つて行つた)  
言うて、ねえ (根) 共に もてた (持って行つた) 言  
う事をなあ、ごそつと引いてくの (ていくのを) ネエ  
ゴチ おこしてた (掘り起こして行つた) 言うたりな  
あ。全部ごそつと とてくの (取つて行くのを) ネエ  
ゴチ もてたない (持って行つた)、ねだ (根太) ご  
ち もてた (持って行つた) 言う人も有るしなあ。

**ねえこむ** 【自マ五】 寝込む 病気で床につく (鈴市、  
伊) [会話] 風邪引いて 寝込んで (でしまつて)、  
俺家の兄ん子な (が) 沖い (に) 行かれやせんわれ  
(行けません) 言うたりなあ。寝込むと ネエコンド  
ンネ (こんでいるのです) 言うて ちよいと (少し)  
引つ張る時と。

**ねえさん** 【名詞】 1) 年頃の女性に対する呼び掛け (志  
(片田、畔名、神明)、鳥 (神島)) 2) 年頃の娘  
[会話] ② ほんとの (本当の) 姉さんやなしん (でな  
くて)、誰ん (に) でも ネエサン これ言うて、娘  
の にげ (人間) にやなあ (には) ネエサン 言うし  
なあ (言います)。

**ねえし** 無い 有りません [会話] なんも (何も) ネ  
エシ、人な (が) 来てくれたてて (くれても) なんも  
やるもん (物) ネエシ 言うて、なんも 食わすもな  
(物は) ネエシ言うて、無いと ネエシ 言うのなあ  
(です)。酒もネエシ わしら (私) おなご (女) 世  
帯やよつて (だから) 一杯やるよも (飲むことも) ネ  
エシなあ言うて、有りません言う事。

**ねえしな** 【名詞】 寝しな 寝てすぐ (南)

**ねえそこねた** 寝損じた [会話] ネエソコネタ言うの  
ねそびれた 言うやんかい

**ねえてや** 有りません [用例] わしげなんも (私の家  
はなににも) ネエテヤ。

**ねえながし** (寝流) 寝てばかり居る (志 (布施田))

**ねえね** 無い 有りません ねえと同じ [会話] 一番  
初め 言うわけでもネエネ、しよっぱな 言うて 一  
番初めやけど (だが)。

**ねえほおける** 長い時間寝ている 馬鹿程寝ている  
[会話] 寝てばっか (ばかり) おるとなあ、日がな一  
日 (一日中) 飯も食わんと (食わずに) 寝るとと (寝  
ていると)、日がな一日 ネエホオケトラレ (てい  
る) 言うてなあ。日曜日 (に) になると 今日 日曜  
や (だ) おもたや (思つたら) ネエホオケトンノ (て  
いるのです)。朝も食べな (なければ)、昼も食べやへ  
ん (ない)、ま ネエホオケテカレ (て行きます) あ  
や (彼は) まあ 言うてなあ。

**ねえほす** (寝干) いつ迄も寝て居る (志 (布施田))

**ねえほりはあほり** (根掘り) (葉掘り) しつこく こま  
ごまと詮索する事 ねえからはあから。

**ねえやれ** 有りません [用例] おらぎやなんも (私の  
家は少しも) ネエヤレ。

**ねえやれ** 【接尾語】 ないのです。ないのだ。[会話] そ  
いな (そんな) 事 ないわれ (有りません) 言うのを、

そいな (そんな) 事 ネエヤレ 言う人も 有るなあ。  
ないも、ネエも 一緒やよってんなあ (だから)。

**ねえやん【名詞】** 姉 ねえさん (志 (浜島、鶴方)、鳥 (加茂)、尾) [会話] ネエヤン 言うし、ねえよ 言うね (言います)、あねよ 言う人も有るし。わがと (自分) より 上のもん (者) にや (には) ねえよ 言うて。

**ねえよ【名詞】** 姉さん 若い女性を呼ぶ時 (志、度)

**ねえよお** 有りません

**ねえよおんなる** 1) 無くなる (志 (志島、国府、鶴方)) 2) 死んだ (志、鳥 (桃取)) [会話] 1) なんも (全く) ネエヨオンナツカレ (なつて行く) そげん (そんなに) 皆 もてたら (持って行ったら) 言うて、無いよおん (に) なつてく (なつて行く) そげん 皆 取ったたら (てしまったら) なんも ネエヨオンナツ テクヤンカア (なつて行くでないか) 言うてな。もて たり (持って行ったり)、取ったたりすと (てしまったりすると) 無いよん (ように) なる言うのな (を)、ネエヨオンナル。

**ねえわい。ねえわな (女性語)。ねえわら。ねえわれ** 有りません [用例] わたしゃそいなじつばんもん (私はそんな立派な物) ネエワイ。

**ねえんかい。ねえんかな (女性語)** 有りませんか 無いのですか [会話] まあ (もお) ネエンカイ こんで (これで) 言うて、まあ ないわれ (です) こんで 言うて、ないよん (ように) なつてくと (て行くと)、まあ ねえわれ (有りません) 言うて、ない 言うのも ねえ 言うのも 一緒やけどなあ (です)。

**ねおき (寝起)【名詞】** 1) 目が覚めて起き出すこと 又その時の態度 2) 寝ることと起きること 日常生活 いつも [会話] 1) 起きると 機嫌な (が) わり いて (悪くて) 言うの (のを)、ネオキな (が) わり いて 言うてなあ。起きて来ると にやあにやあ 言う子な (が) あるやんない (有るでしょう)。そすと こわれ (これ) このかあ (子は) まあ ネオキな (が) わり いて 起きて来ると こえん (こんなに) 愚図愚図 言うとんね (言っているのだ) 言うて、そして おれげ (俺の家) ん (の) このかあ (子は)、ネオキな (が) よおて (よくて) 起きて来ると すぐ ん (すぐに) わるとんね (笑っているのだ) 言うたり な、機嫌な (が) ええ (よい) と ネオキな (が) ええ 言うて。

**ねがいごと (ねがひごと)【願事】【名詞】** 1) 願い望む 事柄 依頼 2) 訴訟 [会話] 1) ああ 神さん、どお

ぞ わしな (私の) 病気 治してくれ (下さい) とか、わしな 縁談な (が) まとまるよおん (ように) 頼む こと、神さんえ ネガイゴトして 言うてなあ。

**ねがいごもり (ねがひごもり)【名詞】** 寺社に三日間参籠し祈願する事 こもり参照 [会話] ネガイゴモリ 三日と れえごもり (お礼の参籠) 一日と。

**ねがう (ねがふ)【他ワ五】** 1) 訴える 告訴する (上、阿) 2) 依頼する [会話] 2) ネガウ。信心して ま めなよおん (健康であるように) 言うて ネガウとか、なんかを (何かを) 呉れ 言うのを ネゴて (願つて) えごと してもろた (よいようにして貰った)、てやら (とか)、だれそれ (誰かに) 頼むのおを (のを) ネガウ言うて ネゴテまあ してもろた (貰った) 言うて。

**ねがかり【名詞】** 寝始め [会話] ネガカリに、あれ 一つ喰うたや (食べたたら) ほん (本当に) 腹な張って 言うて。

**ねがかり【名詞】** 釣り糸を海底の暗礁にひっかける事 [会話] 道具を岩に引つ掛けて ネガカリして、今日は 潮な (が) はよおて (早くて) ネガカリさしたて (させてしまつて) いしやどん たのだよお (頼みました) 言うて。

**ねがけ (根掛)【名詞】** 女子の日本髪の髷の部分に掛ける 布、宝石、金属などの飾り物 [会話] 日本髪 ゆう時ん (に) ネガケや (だ) 言うて しよおつたな あ (して居ました)、たてながを ネガケン (に) してもろて (貰らつて) 言うてなあ。

**ねがけ (寝掛)【名詞】** 寝ようとする時 寝かかっている時 ねしな参照 [会話] 寝る前 ねしま ネガケ 言うて、茶のおだり (飲んだり) すると、寝しな ん (に) そげん (そんなに) のおだら (飲んだら) しょんべ (小便) たれんど (するぞ) 言うて。ネガケに なんやかや (いろいろ) 食うと はざんわれ (駄目だ) 言うてなあ。寝よ (寝よう) おもとる (思っている) 時ん (に) なんやかや 此れ 食わんかれ (食べなさい) のも (お前も) 一つ 言うたりして、食うと (食べると) まあ ネガケン (に) あれ 食うたや (食べたたら) ほん 腹な (が) 張ってとか 言うて、因縁つけてくんのなあ (来るのです)。

**ねがけとる** 狙って居る 隙をうかがう (志 (布施田)) [会話] あれを めがけとんの (ているのだ) 言うの (のを) ネガケトル 言うなあ あれを まあ おんな (俺が) 誰も おらん (居ない) 時や (は) 取 る (取ろう) とか、したるん (してやろう) とか 思

うのなあ (です) ネガケトル 言うてなあ。

**ねかける** 寝ようとする [会話] 寝てく (寝て行く) 時の事を ネカケル 言うの (のです)。ネカケトンノニ (ているのに) まあ あんな (彼が) 来て 起こされて めえ (目) 覚ましたよお言うてなあ。

**ねがける** 【他カ下一】心にかける 目にかける 注意して見ている (津、多、度、伊、尾) [会話] あれ ネガケトンネ (て居るのだ) 言うて、ねつろとる (狙って居る) てやら (とか)、ネガケル てやら。ねつろとんね (狙って居るのだ) あの家や (は) ええ (よい) 娘な (が) あんなあ (有る) 言うて、それ ねつらう (狙う) 男もあんなあ (有ります)。あの男 あれ (彼女を) ネガケトンネド (て居るのだ) 言うて、ねつろとるやとか (だとか)。娘な (が) ええのな (良いのが) 有ると 嫁ん (に) ほしなあ (欲しい) 言うて それ ネガケル 言う時も有るし、ねつろとんね 言う時も 有るし。

**ねがつとる** 粘って居る 腐りかけて居る ねがる参照

**ねかぶ** (根株) 【名詞】木の切り株 [会話] ねえ (根) の株、ネカブ。きい (木) の ねえ (根) の株 言う事やろ (でしょう)。きいの かぶた (株)。いまめのかぶた (株) で けつ (尻) 突いて言うの かぶたの事や (です)。

**ねがみやい** 1) 睨みあい 2) 仲違い 喧嘩 ねがめやいに同じ [会話] 1) ネガミヤイ言うね (言うのです)、睨みやい (あい) すんのを (するのを)、ねがめてまあ 俺を 言うてなあ。ネガミヤイしょおか (しましょう) 言うて こえんして (こんなにして) しとると (していると)、めえ (目) 叫いた (まばたきした) もんな (者が) 負けでなあ。

**ねがみつけられる** 睨みつけられる

**ねがむ** 睨む

**ねがめつける** 睨みつける 睨む [会話] めえ (目) ひっからかして (光からして)、のらは (お前達は) なんもしてねえやんか (なににもしてないではないか)。睨む 言う事を、ネガメツケル 言うのなあ (のです)。睨められた 言うのな (が) ほんと (本当) やけど (だが) ネガメツケラレテ言うて。睨みつけるあの人な (が) 俺 ネガメツケヤアルイテ (つけて) なんやら (なにか) ごおなわくのかして (腹が立つのか) 言うて、ネガメツケル言うな (のは) どいらい (大変) こんじよ (根性) な (が) わり (悪い) よおな 言い方やなあ (です)。

**ねがめやい** 【名詞】 1) 睨みっこ にらめこ参照 2)

喧嘩 [会話] 1) にらみこすんの (するのを) ネガメヤイ言うね (言うのです)、ネガメヤイ しょおや (しましょう)。

**ねがめられる** 睨まれる [会話] 睨められる 言うのな (が) ほんとやけど (本当だが)、ネガメラレル 言うのなあ

**ねがめる** にらめる にらむ 睨める [会話] ごお (量) な (が) よけ (沢山) あんの (有るのを) 貰らわな (なければ) 言うて ネガメル。

**ねがる** 【動詞】 1) 粘る 粘気の有る事 2) 腐敗する 事 すえる (志 (志島、甲賀、国府)) 3) 甘える [会話] 3) ネガル言うのは 子供らが お母さんに甘えたりすんのも (するの) ネガル。1) 足の裏が ネガルてやら (とか)、飴 喰うて 口な (が)、てえ (手) な (が) ネガルとか言うて。ねばねばしとると (して居ると) こや (これは) ネガツンナイ (て居る)、ネガツテ来たない (来た) 言うて。2) 物が腐る時も ネガツトルよつて (て居るから) 腐つとんねど (て居るのだ) こや (これわ) 言うて、ねばねばして 来ると ネガツテ来た言うて。御飯な (が) ネガル あめて来た (腐って来た)、あめて来た 言う人も有るし、ネガル 言う人も 有るしなあ (有ります)。

**ねがわ** 【名詞】謝礼 報酬 [会話] ネガワ 一割言うて なんやかや (何か) 見つけて ひろたり (拾ったり) しても ネガワ 一割 出さな (なければ) 言うて。物 ひろて (拾って) 警察い (へ) 届けても ネガワ 一割 言うて。

**ねがわし** (ねがはし) (願) 【形容詞】ほしいと思う状態であるさま [会話] ネガワシ事やなあ (です) 言うて、これしたる (してやる) 言うて、わがと (自分が) これ、して ほしのんなあ (ほしいのに) おもとると (思っていると)、おおた ネガワシ事やなあ (です) 言うてなあ。これがしたい 思とんのをなあ (思っているのを) してくよ (してあげます) 言うて来ると、ねごても (願っても) ない事やなあ (です)、ネガワシ事やなあ 言うて。棚から 牡丹餅でまあ そや (それは) ねごても (願っても) 無い事やんかあ (です) 言うて 嬉し時なあ (に)。

**ねき** 【名詞】根際 そば かたわら 辺り 附近 (志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥 (坂手)、員、三、鈴郡、安、津、一、飯、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] 近くの事 ネキン (に) おんない (居ます)。あんな (貴方が) 好きで あんなの ネキン

(に) ひっついとんね (て居るのだ) 言うて。あのひた (人は) あの人な (が) すきやもんで (なので) あの人の ネキん (に) ばっか (ばかり) おんね (居るのだ)、あの人ん (に) 惚れとんねど (て居るのだ)、あや (あれ) ネキん ひっついてくねない (ひっついて行くのだ) 言うて、惚れとんねど 言うて。ネキい (へ) ばっか (ばかり) いて (行つて) 言うて、ネキい (に) むしりついとんねない (て居るのだ) 言うて。近くとか そばとか そばん (に) おんのおを (居るのを) ネキや (だ) 言うね (言うのです)。お前な (の) ネキん有るやんない (有るでしょう)、なんでも 物な (が) ちっかい (近い) とこ (所) ん (に) 有ると、ネキん (に) あん (の) (有るのを) 取つてくれ まあ (下さい) 言うて。側に有るとか 近いとこ (所) に 有るとか 言うのを ネキに有る。

**ねぎさん** (祢宜様) 【名詞】 1) 神主 神官 (志、鳥、桑市、一、松、上、張、度、尾、北、南) 2) 海魚るりはた かすねぎ参照 [会話] 1) ネギサン、神主さん。カスネギ すかんとさいご (嫌だと) カスネギやなあ (だ) すかん (嫌だ) 言わんと (言わずに) あや (彼は) カスネギやなあ (だ) 言うね (言うのです)。

**ねぎたない** 【形容詞】 いつ迄も起きて居る事 夜ふかしする事 [会話] いつ迄 起きとると (て居ると) ネギタナイ。いつ迄 起きとんねない (起きて居るのだ) 言うて。子供らを わるう (叱る) 時ん (に) 早よ (早く) 寝やんかれ (寝なさい) ネギタノオテ (なくて) 起きとて (て居て) 言うて。大人ん (に) ちょんちよろ そばえて (甘えて) 起きとる (て居る) 時ん (に) 早よ 寝よまあ (寝なさい) ネギタナイナア 言うて。いつ迄 起きとると 早よ 寝やせん (寝ない) のを ネギタナイ。

**ねきのうち** 【名詞】 隣家 (志) [会話] 隣の家なあ (です)。ひっついとると (て居ると) ネキノウチ の 言うて ひっついとると ねきや (だ) 言うね (言うのです)。

**ねぎのきい** 【名詞】 植物 [会話] ネキノキイ あっかい (赤い) じっぱな (立派な) 花な (が) 咲く その きい (木) な (が) どいらい (大変) 臭さいね (臭いのです) なんやら (なにか) へえ (屁) 臭い すかん (嫌な) かざ (嗅) な (が) すんねてや (するので)。

**ねぎらい** (ねぎらひ) (労) 【名詞】 相手の労苦を慰めること 又その言葉 [会話] ネギライ ねぎろう、ご苦勞さん言うて まあ あの人の労も ネギラワナ

(なければ) はざんわれ (駄目だ) 言うてなあ。

**ねぎらう** (ねぎらふ) (労) 【他ワ五】 骨折りを慰める 苦勞したことに對し感謝する [会話] ねぎらいも ネギラウ 言うのも 一緒や (です)。

**ねぎりたおす** (ねぎりたふす) (値切倒) 【他サ五】 徹底的に値切る [会話] ネギリタオス 言うな (のは) 値段を まけえ (まけなさい) まけえ 言うてな せんぎり (十分) こぎつて (値切つて) こんだけ (これだけ) まで まけさした (させた) 言うてな 安う (安く) してもろてなあ (貰らつて) まけえ まけえ 言うの (のを) こぎる 言うて ねこぎりして (ひどい値切りして) 言うて、こぎんの (値切るのが) また上手な 人な (が) 有つてなあ。ネギリタオス 言うなまあ まけまい (まけない) 言うの (のを) どお有つても まけえ 言うてな、もお 十円 まけえ やたら (とか)、まあ これより まけられんてや (まけられません) もお 五円 そしたら 言うてなあ 責めん (る) のなあ。

**ねぎる** 【他ラ五】 値をまけさせる 値引させる (志)

**ねぎろう** ねぎらうに同じ [会話] 人ん (に) よつて ネギロウ 言う人も有るな あ ねぎらう 言うのを。

**ねぎわ** (寢際) 【名詞】 寝ようとする時 又寝てすぐの時 ねしま参照 [会話] 寝よ (寝よう) 思つとる (思っている) とこ (所) なあ、寝よかいなあ (寝ようか) 思つとるとこをなあ、しょんべ (小便) しいん (しに) 起きんで (なくて) ええ (よい) よおん (ように) まあ ネギワニ しょんべもして 寝やな (寝なければ) 言うて。

**ねぐい** (ねぐひ) (寢食) 【名詞】 1) 寝て食べること 2) 働いて収入を得ることなく生活すること 徒食 [会話] 1) 寝とて (寝ていて) 食う (のを) ネグイ して、ねぐらい (寝喰い) してまあ 言うてなあ。ねどころ (寢床) で 食う (のを)、寢床の中で おつてなあ (居て) かくしぐい (隠し食い) しとんねわい (しているのです)。

**ねぐさい** (寢臭) 【形容詞】 腐敗 食物が腐敗する。食物の、あしくなりたるを、ねくさいといふこと (金葉集)、窓下に、あふみにか有といふなる、かれいひ山、君はこえけり人とねくさし。ねぐさし (寢臭し) 寝た形跡が有る 又共寝したらしい 古なつて嫌な嗅いがする かび臭い (志 (片田、布施田、鶴方、志島、国府、甲賀)) [会話] ネグサイ 言うと 腐つてく (て行く)。飯な (が) 腐つて 変なかざ (臭い) が

して来るやんない (でしょう) 酔い臭い。くさりかけ、腐って来る。こらら (子供) でも しょんべ (小便) を むつき (おむつ) を 替えんと (ずに) おると (居ると) 開けると 臭いんどお (臭いのです) ネグサイわれ (です) 言う。

**ねぐさり【名詞】** 野菜などの根が腐ること ねぐされ (南)

**ねくさる (寝腐)【自ラ五】** 熟睡する 十分に寝る 度を過ぎて寝る (尾) [会話] はよ (早く) 寝腐れ 言うて。ねやんと (寝ずに) おると (居ると)、早よ 寝腐れ 邪魔ん (に) なんのん (なるのに) 言うたり、早よから ネクサッテ 言うて。“寝てけ 寝てけと 尻叩かれて 寝てもいかよか (いかれようか) たたかれて よおい よおい” 言うて 子守歌な (が)。寝てけ (寝て行け) 言うても 寝やせんと (寝ないと) 寝ぶたのおて (寝むくなくて) いつ迄 起きとて (て居て) 早よ 寝腐れ まあ言うて。寝よ (寝なさい) 寝よ 言うても 寝やせんと 早よ (早やく) 寝くされ 言うて、ネクサル 言うのは 早よから ネクサッテ まあ 言うて。“され 寝くされのされは、せえ (しなさい) しくされ (しなさい) 泣きくされ (泣きなさい) 言うて。

**ねくされ** 寝なさい くされ 腐れ 腐るの命令形 他の動詞の連用形について 他人の動作をののしって言う (尾) [会話] 早よ (早く) 寝やんかれ (寝なさい) 言うのを ネクサレ 言うのも 有るし、早よ (早く) ネクサランカレ (寝なさい) いつ迄 たけつとらんと (騒いでいないで) 言うてなあ、何時迄 さおで (騒いで) 起きとるとなあ (ていると)、そして 幾ら 言うても 聞かへんもんで (ないので) 早よ (早く) ネクサレ 言うて 汚い言葉な (が) 出てくんのなあ (出てくるのです)。

**ねくされ (根腐)【名詞】** 根が腐ること 性根が腐ること [会話] ねえ (根) な (が) 腐ってた (て行った) 言うのも有るし、ねえ (根) な (が) 腐る ネグサリな (が) してまあ言うて、果物でも野菜でも 植えとると (ていると) ねえ (根) な (が) 腐って来ると おおたまあ ネクサレな (が) してまあ 絶えてたよお (ていった) 言うてなあ。

**ねぐせ (寝癖)【名詞】** 1) 寝ている間に髪の毛の形がくずれること 又そのために出来た変な形の髪の毛の形 2) 寝て居る状態 [会話] ② ネグセな (が) わり (悪い) とか、ねざまな (寝様が) わり とか 言うてなあ。だんばらかやして (大の字で) 寝たり なあ、

わしらな (私達の) 若い じぶあん (頃は) だんばらか やして 前 (陰部) も 放り出して 寝とると (寝ていると) まあ 電気の下で しらめ (虱) な (が) ほおとられ (這っている) 言うてなあ、そすと ねざまな (寝姿が) わりと (悪いと) 足 縛って 寝たり なあ しよおった (して居ました)。ねざまな わりと みとみない (見苦しい) よってん (から) 言うてなあ。

**ねぐらい【名詞】** 寝床の中で食べる事 ねぐい [会話] 寝とて (寝ていて) 食うの (のを) ねぐい、ネグライ してまあ 言うてなあ ねどころ (寝床) で 食うの をな。

**ねぐり【名詞】** 網などを引き上げる時一番大切な所を引き上げること またその人

**ねぐるい (寝狂い)【名詞】** 寝相の悪い事 睡眠中やたらに動く 寝乱れて しどけなくなる (志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、南、熊) [会話] ネグレイ 言うて ねざまのわり (悪い) のを 寝苦して、ねざまな (が) わり。足 広げたり てえ (手) 出したり ネグレイ。あっちゃ (あちら) い (へ) かいり (返り) こっちゃ (こちら) い (へ) すると ネグレイ よけ (多く) してまあ 言うの (のです)。ねざま 言うて 寝とる (て居る) 格好 格好な (が) わりいて (悪くて) 足 広げたり 手 広げたり すんの (するのです)。昔や (は) 荒布 かずき (採って) かいだりて (疲れて、だるくて)、前の浜な (が) 砂な (が) ごぼごぼしてて (して居て) 熱いのんなあ (のに) 船一杯 かずいて 来たの (のを) 畚で 吊って 上い (へ) あげんね (揚げるのです)。そおすと (すると) 砂 歩くのん (のに) かいだりて 熱いし なんのゆうが (因果) やか (か) 思いおった (思いました)。そすと (すると) よさり (夜) ん (に) なると かいだりて たっぼかえして あおたん だぼしんして (陰部も丸出しにして) 寝とんね やろなあ (寝て居るのでしょうか)。そすと (そうすると) ととも (夫も) かいだりて (だるくて) ネグレイ して あおたん (女陰部) の中へ (に) 首 突っ込んで、一旦や (ある日は) 寝とて (寝て居て) そしたや (そうしたら) 臭おて (臭くて) 髭な (が) はなぼら (鼻孔) の方 つきつけて 寝とたん やろなあ (寝て居たのでしょうか) わがとも (自分も) ねぼけとて (寝ぼけて居て) めえ (目) あかんと (開かずに) よさや (夜は) 真っ暗がり にして 寝るやんない (寝るでしょうか)。そしたや (そうしたら) 朝

起きたや (たら) わりや (お前は) ゆんべや (昨晚は) 口髭生やした いきくさい人 寝やしとたやんか あ (寝さして居たでは無いか) 言うたんでわい (言ったそうです)。とおさん (夫) な わがとも (自分も) かいだりて うつつと 寝とんね (寝て居るのです)。夜中ん (に) 目 あいた時ん、かか (妻) な (の) 内股い 首 突っ込んで 寝とて (寝て居て) 毛な (が) 鼻い (へ) あたんのを (当るのを) 口髭な、そして どいらい (大変) いきくさい男や (だ) おもて (思って) おたべ (女陰) くさいのおを (のを) いきくさい男 寝やしとた (寝さして居た) 言うて、かか (妻) くたためて (怒って) えらかったんでわい (大変だったそうです)。かか くたためて みよとげんかした (夫婦喧嘩した) 言うて。

**ねこ (猫)** 1) 猫背 (阿、張、名) 2) 帯の太鼓の形を整えるための綿を入れたもの 3) 猫鮫 (鳥) 4) 海鳥 海猫 5) 魚の好きな人 6) 本性をかくし外面をよく見せる事 [会話] 6) ネコ、ネコ 被とる (て居る) 言うて、おとなあし (おとなしく) して賢ぶつとると あや (彼は) ネコ 被って あやあれ (あれ) 言うて。つねや (常は、いつもは) きゃんきゃん 言うとても (言って居ても) 人のとこ (所) い (へ) いて (行つて) しゅつと しとると (している) と あや ネコ 被とんねど (被って居るのだ) 言うて。1) 背中な (が) もやがつとると (盛りあがって居ると、丸くなって居ると) あや (あれ) ネコ おおで (負んで) 言うて。2) そして 着物 着た時 帯のちい 入れるネコも有るし、あれもネコ。

**ねこあし (猫足) 【名詞】** 1) 墓石の下にある支え 2) 膳の足で上部が膨らみ中程がやや細くなり下部が丸くなって猫の足に似て居るもの (南) [会話] 2) 膳の足なあ (です) 曲つとると (て居ると) ネコアシや (だ) 言うて。ネコアシ膳 言うやんかい (言います)。本膳を なかい (へ) 曲つとるやんない (て居るでしょう)、そやもんで (それで) ネコアシ膳 言う。1) 石塔の下も 蓮華乗せるとこ (所) 曲つとんの (て居るの) ネコアシん (に) なるて。

**ねこあしぜん (猫足膳) 【名詞】** 脚の部分が猫足の膳 宴席などに用いる猫足のついた個人用の膳 (南) [会話] ネコアシぜん 言うな (のは) 中 向いとんの (向いているのを) 脚な (が)。本膳 ネコアシぜん 言うてな、一寸 こお、曲つとる (曲っている)。殿さんらな (が) あいなの (あんなのを) 出して来るやんかい (来ます) 映画でして来ると。

**ねごい (寝濃) 【形容詞】** 眠りが深く容易に目が覚めないう寝濃い 寝坊である なかなか目が覚めないう [会話] ネゴイ 言うな (のは) 寝とて (て居て) 幾ら起こしても 起きやん (起きない) にげ (人間) あや (彼は) ネゴオテ (寝濃くて) 幾ら起こしても 起きやせんよつて (起きないから) ねもの (性交) しやれても (されても) 知らんと (知らずに) おんねやれ (居るのだ) 言うて。寝とて (て居て) 起こしても起こしても 起きん (ぬ、起きない) にげ (人間) な (が) 有るわい (有ります)。ネゴイなあ あや (彼は) 言うて。たつぽかえして (転々反側して) 寝とる時ん (に) ネゴオテ あや あおたん だぼしに しとられ (女陰丸出しにして) 言うて。

**ねごえ (根肥) 【名詞】** 作物を植える前に施す肥料

**ねこおえぎ 【名詞】** 犬掻き ねこおよぎに同じ [会話] ネコオエギ こして こして すんの (するのを)。のらまだ (お前達) ネコオエギか 言うと まあ ひらおえぎ (平泳ぎ) や (だ) 言うて。まだ ネコオエギや (だ) 言うて。泳ぎかけ (始め) の おりんなあ (時に) けえこ (稽古) したすぐはなあ、ネコオエギ、それから上手ん (に) なるて来ると ひらおえぎ よおすんねよお (よくするのだ) 言うて 嬉んで くるやんかい (来ます)。

**ねこおぶ (猫負ぶ)** 1) 猫背 背が丸く曲り首が前に出て居る姿勢 又その人 (尾) 2) 着物の着付けの悪い時 [会話] 1) 背中な (が) もやがつとんのなあ (盛り上がって居るのです)、あや (あれ) ネコオンドテ (負んで居て) 言うて、せむし (僵僕) やたら (とか) 僵僕と 又 ちごて (違つて) 猫負んどんなあ (で居るのは) もこつと どんがら (胴柄、背中) が 出て来んねやろなあ (出て来るのでしょうか)。2) きもん (着物) でも 襟 曲げて着とると (着ていると) 後ろから見ると ネコオオデ (負んで) 着とんない (着て居る) 言うね (言うのです)。

**ねこおよぎ 【名詞】** 泳ぎの一種 犬かき [会話] ネコオヨギ 言うな (のは) 泳ぎの かき始め (泳ぎはじめ) よお (よく) おえぐんか (泳ぐのか) 言うたや (言つたら)、ネコオヨギ 言うとるやんかい (言つて居ます)、こげんして (腕を交互に前後に動かす) しとんの (して居るのを)。おえぎかく言うのは 泳ぐ。おえぎかく 稽古せな (しなれば) 言うて おえぎかいて来た 言うて 泳ぐ事。

**ねこおんどる** 背中を丸めている [会話] 背中いなあ (へ) ざある (策) ひつ付けたよん (ように) 曲つて

しとんの (しているのを) ネコオンドル。

**ねこかす** (寝転) 【他サ五】 熟睡する ぐっすり眠る

**ねこかぶる** (猫被る) 本性を隠しておとなしそうに振舞う [会話] 人のとこ (所) 行くと すっとしとんの (して居るの) ネコカブル言うて。そして声でも やんわり (柔らかく) 言うると (言っで居ると) 猫なで声や (だ) 言うて、やあわり (柔らかく) 撫でるよん (ように) 言うると (て居る) 人な (が) 有るわい (有ります)。

**ねこぎり** 【名詞】 商品の売買で買い手がひどく値引きさせる事 [会話] 安う (安く) してもろてなあ (貰らつて)、まけえ (まけなさい) まけえ言うの こぎる 言うて ネコギリしてまあ 言うてなあ。

**ねこける** (寝転) 【自カ下一】 正体なくぐっすり寝る [会話] ネコケトンネ (ているのだ)。ねえほおけとる 言うね (言うのです)。よお (よく) 寝とんの (寝ているのを) 寝て寝て ねこつとられ (ている) 言うて。ねっからかしとられ 言うて。寝こつてて (ていつて) まあ言うて いくら 起した 突いたてて (ても) 起きやせんね (ないのです) ねこらしとられ (ている) 言うて。

**ねこざめ** (猫鮫) 【名詞】 なぬかざめ トラザメ科の海魚 全長1m達す。尾部は細いが腹部は肥大し、空気を吸ってふくらます事も出来る。体色は灰褐色の地に暗褐色の不規則な斑紋がある。(志) [会話] ネコザメ 言うのな (が) 有るやんかい (有ります) ネコザメ 言うねやんない (のでしょう)。旨いなあ、ねこな (が) いっち (一番) ええねなあ (よいのです)。さめなますん (に) すんのんなあ (するのに)。

**ねこじた** (猫舌) 【名詞】 猫のように熱い物が苦手な事、又そのような人。猫は熱い食物を嫌う事より言う (大言海) (志 (布施田)) [会話] あたたい (熱い) もん (物) よお喰わんと (食べれないと) わしや (私は) ネコジタで あたたいもな (物は) はざんねてや (駄目なのです) 言うて。ねか (猫は) あたたいもん よお喰わんやんかい (食べられません) 舌で ころばかして (転がして) ばっか (ばかり) おって。

**ねこぜ** (猫背) 【名詞】 背中が丸く曲って前方にやや屈むような姿勢になっていること 又そのような人 [会話] ねこ 負んどの (でいるのを) ネコゼ 言うの。曲つとんの をなあ (ているのを) ネコゼや (だ) 言うて。

**ねこつとる** 熟睡している 寝凝る (志 (浜島 布施田)) [会話] ネコツトル言うてな、寝て 深い眠りに

ついとるのをな (ているのを) ネコツトル 言うのなあ (です)。

**ねごと** (寝事) 寝てする事 性行 同衾 [会話] 夜も 晝も 寝とんねやんかい (寝ているのです) ネゴトな (が) 好きなんやろなあ (好きなのでしょう)。

**ねこのおびや** 【名詞】 居場所を転転と変える事 (志 (布施田))

**ねこのひたい** 【名詞】 狭い所の形容、猫の額の狭い事から

**ねこばば** (猫糞) 【名詞】 猫が糞に土をかけて隠す事から言う 悪事を誤魔化して知らない振りをする事、特に拾った物をひそかに自分の物にしてしまう事 (志 (甲賀)) [会話] なんやかや (色々) ぼっぼ (懐中に入れる) したると (してやると) ネコババして あや (あれ) 言うて。ネコババして わがと (自分) ぼっぼしたれ (した) 言うて。

**ねこま** 【名詞】 子安貝 軟体動物 腹虫類に属す 特殊な形の貝 ネコマは、古語で猫の略 下略してネコ (志 (浜島)) [会話] かいぞろの ネコマ、ちっさい (小さい) のも有るし おっきい (大きい) のも有る。そして めぶた (まぶた) な (が) 膨れて たっかい (高い) と ネコマみたいなあ (のようだ) 言うて 言うなあ (言います)。ネコマは かいぞろん (の) ちい (へ) まぜて呉れる。とおちんこや でべそは はざんねけど (いけないが) ネコマは かいぞろのちい まぜて呉れんなあ (呉れます)。でべそや (とか) とおちんこ まぜつとると (混ぜて居ると) そや (それは) がらくたで 安い (の) (です)。ネコマだけは かいぞろん (に) なんの (なりません)。

**ねこまたぎ** 【名詞】 大量に取れた魚 猫も飽食してまたいで行く意 所と時により魚が変わる。[会話] さいら (秋刀魚) を 昔や (は) ネコマタギや (だ) 言よおったわい (言っていました)。よけ (沢山) 揚つて (獲れて) 猫も またんでくので (跨いで行くので) ネコマタギや (だ) 言うて、よけ 揚つて 今日も四杯積み 言うて よけ 積んで来ると 四杯積して来て 幾日も 続いて来ると、そすとまあ (すると) 猫も 食わせんね (食べないのです)。浜い 一杯干してなあ 干物な (が) あんまり (あまり) よけ (沢山) 出来ると こんだ (今度は) にがらん (煮殻・肥料に) してなあ さいらの みい (身) ごち (ごと) 炊いて 肥料に干して うくよおったの (送って居たのです) そやもんで (それで) 猫も たんの (堪能、飽きて) して 食わせんもんで (食べないので) ねか

(猫は) さいらの上 またんでくねもんで (跨いで行くので) ネコマタギや (だ) 言うね (のです)。

**ねこむ (寝込) 【自マ五】** 1) 熟睡する ぐっすりと寝入る 2) 病気になって床につく [会話] 2) 風邪引いて ネコンドンネてわい (でいるそうだ) あのひた (人は) 言うてな。病気で寝たのを ネコム。

**ねこやしたて** 1) 寝過ぎた 2) 完全に熟睡した [会話] 2) ネコヤシタテ 言うな (のは)、ねこったる事 ネコヤシタテマア 知ららったよお (なかった) 言うてな。ねえきってく (寝きって行く) 事を ネコヤシタタ (てしまった) 言うね (言うのです)。

**ねこやす** 1) 寝過ぎす 2) 熟睡する [会話] 2) ネコヤスのも、寝て寝て ねっからかす (寝る) のを 言うね (のです)、ネコヤシタタ (てしまった) ネコヤシトンネ (ているのだ) 言うてな。

**ねこらしとる** 熟眠している 熟睡している [会話] いくら 起したてて (ても)、つついたてて 起きやせんね (ないのだ)、ネコラシトル 言うて。

**ねごろ** 熟睡している 抱いて寝るのに丁度よい頃 [会話] 娘 十七、八 抱きごろ、ネゴロ (寝頃)、袖のひきごろ 騙しごろ 言うて、丁度 娘な (が) ネゴロン (に) なって来て 色気づいて来た 言う事やわいな (です)。

**ねごろ (値頃) 【名詞】 【形容詞】** 物品の値打と価値が相応していること 買うのに丁度よい値段 [会話] しなもん (品物) 買いん (に) 行た (行った) 時、たっかねえし (高くないし)、あんまり (あまり) 安うも (安くも) ねえしな、たっかいと (高いと) よお買わんけど (買えないが) こやま (これは) 丁度ええ (よい) ネゴロやんかあ (です) 買や (買えば) ええわれ (よろしい) 言うてな。

**ねころだ** 寝ころんだ、横になった

**ねころぶ (寝転) 【自バ五】** 横になる [会話] ネコロブ 言うてな。ネコロブ てやら (とか)、ぞろねこいて (して) てやら 言うてな。其処い (へ) いきなり (すぐ) 転ぶのな (のを) ぞろねこいて あやれ (あれ) まあ 言うて、いどころね すんのを (するのを)。

**ねざけ (寝酒) 【名詞】** 就寝前に飲む酒 晩酌 (南、熊) [会話] ネザケ 寝る時ん (に) 呑むの (のです)。寝る時ん 呑むと よお (よく) 寝てくの (て行くのです) ぐうっと、まあ ざっとの味噌ざい ひとねぶり (眠る一ねぶる、舐るにかけてある)。ざっとな (が) 味噌舐めると めえな (目が) めえやせん

もんで (見えないので) よけ (沢山) やら (か)、すけない (少ない) やら 判らせんもんで (判らないので) ごしっと (根こそぎ) ひとねぶり (一舐り) 舐ったるもんで (てやるので) 酒のおで (呑んで) 寝てくと (行くと) ひとねぶり (一眠り)、ひとねぶりしてきや (来れば) ざっとの 味噌ざいや (です)。

**ねざま (寝様) 【名詞】** 寝た姿 格好 寝姿 ねぐるい 参照 [会話] ネザマ 言うと 寝とる格好 格好な わりいて 足ひろげたり、てえ ひろげたりすんの。

**ねじがねも** 【名詞】 ホンダワラ属の海藻、ネジモク、数個体が、盤状根から直立し、近接して瘤状になる。高さ30cm、主枝は細く、三稜形でラセン状に捻れる。下部の葉は卵形又は、被針形、上部の葉は線状気胞は楕円形で尖る。雌雄異株 低潮線付近の岩礁上、波の荒い所に生ず。

**ねじがもどる** 1) 与へた注意が効かなくなる 2) 真面目になる 3) 年を取ってもうろくする [会話] 3) あや (彼は) ネジナ (が) モドツク 言うて、ちよいと (少し) ほおけた (惚けた) よおん (ように) して 来ると、ネジナ (が) モドツタンナア (たのだ) とか、よりな (が) 戻ったんかして (のか) 言うて 言うやんかい (言います)。2) ネジナ モドツタンかして がいな (大変) 真面目ん (に) なって来たない (来ました) 言う時な (が) 有るやんかい (有ります)。

**ねじくび (ねぢくび) (振首) 【名詞】** 首を回して反抗すること (志 (布施田)) [会話] ネジクビ してまあ 言うて、なんやかや (いろいろ) 人な (が) 言うとな あ、それを 言い訳すんのん (するの)に ネジクビ して あんな (彼が) えらいねてや (大変なのだ) 言うて、なんやててえ (なんだと) 言うて。男の人ら こげん (こんなに) して来るやんかい (来ます) 反抗して あんな (彼が) ネジクビ して来たら むつかしねどお (大変なのだ) 言うて。

**ねじくれ (ねぢくれ) 【名詞】** 意地の悪い人 素直でない人 [会話] ネジクレ とんねてわれ (ているそうだ) あのかあ (子は)、ネジクレ とて (ていて) 言うて。ひねくれとる (ている) とか、ネジクレ とる とか 言うてな、ぐれてくと な あ (ぐれて行く)、こんじよ (根性) な (が) わりいて (悪く) 幾ら 人な (が) 言うても 聞かせんのを な あ (ないので) ネジクレ とて 言うてな。

**ねじくれた** 1) 曲がった 2) ひねくれた [会話] 2) あや な あ (彼は) ちっちゃいから (小さい時から) あげん (あんなに) ネジクレ タ 事 ばっか (ばかり)

しとるもんで (しているので) その癖な (が) うさらせんね (失くならないのだ)。

**ねじくれる (ねぢくれる) (拗) 【自ラ下一】** 1) 性質や態度が素直でなく曲る、ひねくれる 2) ねじれて曲る 曲っている [会話] 1) 意地が 悪い 言うのを ネジクレル。

**ねじけ (ねぢけ) 【名詞】** 意地の悪い人

**ねじけこんじよ (拗根性) 【名詞】** ひねくれた性質 [会話] こんじよ (根性) な (が) ねじくれとる (ている) 言うのを 言うのなし (です)。ひねくれとて (ていて) こんじよ 腐りの事を あや (彼は) まあな なん (なにを) 言うたてて (言っても) 人の言う こた (事は) ええ (よい) かい 取らんと (取らずに) わり (悪い) 方面え ばっか (ばかり) とてくね (取って行くのだ) あやまあ (彼は) ネジケコンジョ や (だ)。

**ねじけもん (ねぢけもん) 【名詞】** 心の素直でない人意地の悪い人 [会話] ひねくれとる (ている) 人を言うのを ネジケモン 言うねやるなあ (言うのでしよう)。

**ねじける (ねぢける) (拗) 【自カ下一】** 1) 人にさからってすねる 2) 拗ける 心が素直でない ひねくれる 物の形が歪んだりねじれたりする。[会話] ネジケとんねよって (て居るのだから) 言うの (のです)。こんじよ (根性) のわり (悪い) のおを (のを) 言うねやる (言うのでしよう)。人の言う事を ええ (よい) 事 言うても わりほおばっか (悪い方へばかり) 取ると、あや (彼は) ネジケとるとか 言うて。なん (何) 言うても わり 取る人が 有るやんかい (有ります)。あやまあ (彼は) こんじよ (性質) な (が) ネジケとる 言うて、人な (が) ええ事 言うても、わり ほおい (へ) ばっか (ばかり) 解釈してく (して行く) にげ (人間) な (が) 有ると。

**ねじこまれる** 文句をつけられる 怒鳴り込まれる

**ねじこむ (ねぢこむ) (振込) 【自マ五】** 1) 押し込む (志 (布施田)) 2) 怒りを込めて、文句を言いにかけて [会話] 1) どいらい (大変) おっきい (大きい) たあら (俵) こさえて (作って) ネジコンデ なんでも (何でも) 入いってくんやんかい (入いって行くのです)。

**ねじってく** 1) 歪んで行く 曲がって行く 2) 位置がずれて行く

**ねじってて** 曲って行って 歪んでしまって 位置がずれていって [会話] ネジツテテ 言うのも、ひねくれ

てて (て行って) 言うのも 一緒やなあ (です)。あれも (彼も) なさん (なさぬ) 仲やもんで (なので) ネジツテテ まあ 言うて、針金やどけなあ (なども) 曲げたりする時なあ ねじらかしたたよお (してしまった) 言うてな、にげ (人間) ばっかや (ばかりで) なしん (なくて) そいな (そんな) 時も あんのなあ (有るのです)。ま ネジツテテ (てしまって) こや まあ (これは) はざんよお (駄目だ) 言うて、縫いもん (物) しとても (していても) ねじらかして 縫うたよお とかなあ。

**ねじとる** 1) 歪んで居る 2) 位置がずれている

**ねしな 【名詞】** 寝たばかりの所 寝る直前 (志 (布施田)) [会話] 寝酒も一緒に 寝る前にするとか 喰うとか ネシナ に言うて、寝る前に する事を ネシナや (と) 言うんやんかい (言うのです)。ネシナに 茶 のおだや (飲んだら) しょんべ (小便) しいんばっか (しにばかり) 起きて 寝られやせん (寝れない)。寝る前、ネシナ ねがけ にとか 言うて、茶 のおだり すると ネシナン (に) そげん (そんなに) のおだら しょんべ 垂れんど (するぞ) 言うて、風呂も ネシナン (に) いや (入れば) ええわれ (よい) 言うやんかい (言います)。

**ねじはちまき (振鉢巻) 【名詞】** 手拭 布をねじって頭に巻き額で結んだ鉢巻 ねじりはちまき [会話] ネジハチマキ で うちこんで (落ち込んで) 寝た 言うて、今しや (今は) 祭りでもなあ、振り鉢巻 揃い の浴衣 言うて 振り鉢巻するやんかい (します)。ネジハチマキ 言うのは 振り鉢巻。頭な (が) やめると (痛い) よお (よく) 振り鉢巻して ぎゅうと (強く) 締めたと (てやると) 気持な (が) ええので (よいので) そげんして (そんなににして) 寝とる (寝ている) 人な (が) あよおったの (有ったのです) 昔や (は) あかね (茜) の鉢巻して 寝とられ (寝ている) 言うて、あっかい (赤い) 手拭、鉢巻してなあ、風邪引いて 寝とんねて (寝ているのだそう) だ、あかね の鉢巻 こおて (買って) 見舞ん (に) 行こかいね (行きましょうか) 言よおったよお (言っていました)。なとすんのん (なにをするのに) 言うたや (言ったら) 鉢巻して 寝ん (る) のん だ (のに) 言うて。

**ねじぱとる** 頑固にしている 言い張る 態度を変えない [会話] ネジパットテ (ていて) いごかせんわれ (動きません) 言うてな、何処処ん (に) 行くのん (に) はよ (早く) いこやんかれ (行きましょう)

言うても、怒って ネジバットテ いごかせんわれ  
言うて 頑固ん (に) しとて (していて)、のも (お前も) 行かんかれ (行きなさい) 言うても、やや (嫌だ) 言うて ごねて (無理を言って) 拗とんのを (ているのを) ネジバットル 言うてなあ。

**ねしぱり** 【名詞】元結 髪を束ねる紐 (志) [会話] 頭のネシバリ もつとい (元結) や (だ) 言よおったけど (言うて居たが)。今しや (今は) そげん (そんなに) ネシバリ しやせんけど (しないが) 皆 パアマ かけたりしとて (して居て)。

**ねじばる** 頑固な態度をとる

**ねじべにこじべ** 【名詞】頑固者同志 屁理屈を言って周囲を困らせる者 ねじめにこじべ 参照

**ねしま** 【名詞】ねしなに同じ 寝る直前 寝たばかりのところ ねしな 参照 [会話] ねしな 言うのを ネシマ 言うねわい (言うのです)。ネシマに なんもかも (すべて) 皆 片付けといて (ておいて) 寝よお (寝なさい) 言うてなあ。

**ねじまく** 1) おだてる 2) 元気づける [会話] ② ネジマイタラナ (てやらなければ) はざんわれ (いけない) 言うやんかい (言います)。がいに (大変) うとけ (ぼんやり) みたよん (のように) しとると (して居ると) とぼつと しとると、ひとばか (少し) ネジマカナ (なければ) あや (彼は) ぼけとられ (て居る)。おだてるより なんより (なにより) 元気づける 言う事やろなあ (でしょう)。

**ねじめ (根締)** 【名詞】1) 移植した草木の根の周りを固めること 2) 物事の根本をしっかりと固めること。物事の締めくくり 3) 締締 [会話] ② ネジメな (が) あんねよって (有るのだから) 言うて、ネジメな (が) よおて (よくて) ぜん (銭) よけ (多く) 貯めとんね (て居るのだ) 言うて、しまつ (儉約) する 言う事やなあ (です)。こおと (質素) な (だ) 言う 事やろなあ (でしょう)。あのひた (人は) ネジメな (が) よおて 銭よけ (沢山) 貯めとる やろん (て居るだろう) 言うて、根本の事や (です)。煙草入れも ネジメや (と) 言うなあ (言います)。ねつけに 珠 な (が) 着いとると (ていると) ネジメや (と) 言うて、煙草入れの ねつけに 言うやんかい (言います)。ねつけや (だ) とか おじめ。

**ねじめなある** 気性がしっかりしている

**ねじめにこじめ** 【名詞】頑固者同士。頑固者同士の言い争い ねじめにこじべ [会話] ネジメニコジメ 言う なあ (のは)、わしな (私が) こげん (こんなに)

言うと、そや (それは) そおや (で) ない言うて、あんな (貴方が) 言う。そんでもなあ (それでも) そや こおやんかあ (だ) てや (と言へば) そんでも (それでも) こおやんか (だ) 言うて、ふたんな (二人が) 言いやい (言い争い) すんのをなあ (するのを)、ネジメニコジメで まあ 言うた よな (ような) 事 言うて、ふたんな そりよとられ (反撥している) 言うて。頑固もん (者) 同志 ふたんな 理屈の ゆいやい (言い争い) して、そや こおや (だ) てや (と言へば) そや (それは) ああや (だ) 言うて すんの (するのを) ネジメニコジメ 言うて。ちよいと (少し) した事でもなあ、ふたんな まあ あや (彼は) ネジメニコジメ やよってん 言うて。ネジメニコジメ 言う時と ネジベニコジベ やよってん (だから) 言う時と うなし (同じ) 事や (です) ふたんな こじて (反対して) ぼつか (ばかり) おって (居て) 言い争いする 言う事や はなあ。

**ねじもこじもならん** 1) どうしても動かない 身動きが出来ない 2) 手の施し様が無い (志 (布施田)) [会話] ② ひねくれとると (て居ると)、あやまあ (彼は) ネジモコジモ ねつちもこつちも いごかせんわれ (動かない) 言うて。ネジモコジモ ナラセン ナア (なりません) 言うて、にっちもさつちも いごかん (動かない) とか、ネジモコジモ ナラン よおな (ようだ) 言うて、ひねくれとる (て居る) と さいご (その時) そげん (そんなに) 言うやんかい (言うのです)。ねつちもこつちも いごかれ (行かない) 言うて。なんやかや かつとお (堅く) 締まつとると (て居ると) ねつちもさつちも いごかせんわれ とか。動かしにくい (ぬくい、難しい) 言うの (のを)。人間でも 扱いにくい (ぬくい) 人を 言うやわい (言うのです)。人の言う事 なんも (少しも) 聞かへんし (聞かないし) こじれたよおん (に) しとると (して居ると) にっちも さつちも いかへんわれ (行かない)、こてんおよばんわれ (手に負えない) 言うて、こてにあわん 言う な (のは) 手にあわん 言う 事なあ (です)。

**ねじゃか (寝釈迦)** 【名詞】寝てばかり居る人 (志 (布施田、甲賀)) [会話] 弱糞で 寝てぼつか (ばかり) おんのは (居るのは) ネジャカ 言う の (のです)。お釈迦さんと 一緒に 寝てぼつか (ばかり) おる (居る) 言うて。

**ねしょおがつ (ねしやうぐあつ) (寝正月)**。ねしょんが つ 【名詞】訪問、来客の予定がなくごろごろとして居

る正月 [会話] しょんがつ (正月) な (が) 来ても、どっこいも (何処へも) 行くとか (所は) 無いし 寝たり転んだりしとると (して居ると) ネシヨオガツや (だ) 言うて。

**ねしょんべ** (寝小便) 【名詞】睡眠中にする小便 寝小便 (志 (鶴方、神明、立神、甲賀、安乗)、張、北、南、熊) [会話] ネションベ。寝とて (て居て) しょんべ (小便) たれんの (垂れるのです)。ネションベタレは どなたで御座る 言うて。ネションベ垂れると、なべつかみ 首い (へ) かけて くど (火を焚く所) 廻れ 言うて まあらしよおったやんかい (廻らせて居ました)。“ネションベタレは どなたでござる 恥かしながらも 私でござる” 言うて。

**ねじらかした** 捻った 捻ってしまった

**ねじらかす** ねじる [会話] ネジラカシタテマア (てしまって) 言うて、綱でも にほ (二本) 揃えとると (していると) すうっと行かんと (行かずに) 真ん中ごろで 一つ 振ったると (てやると) ネジツタレ (行った) そや (それ) 言うて、よれてく (ねじれて行く) 言うの 曲ってく (て行く) のや (の) 無しに 縄みたよん (のように) なつてくの (て行くのを) ネジラカス。

**ねじりそで** 【名詞】着物の袖の付け方 (伊) [会話] きれ (布) を ちよいと (少し) はすかい (斜に) ねじってすると きれ な (が) よけ (沢山) 要らへん (要らない) もんで (ので) ネジリソデに しいおったわい (して居ました)。そや (それは) 袖付な (が) おつきい (大きく) なつて きいよいんけど (着やすいが) 格好は あんまり (あまり) ええこたねえんけど (よくない)。

**ねじりづっぱ** 【名詞】ねじり袖に同じ [会話] 振り袖 言うてなあ 布な (が) よけ (沢山) 要らんよおん (ないように)、一尺の袖付けん (に) しょお (しょう) 言うて 二尺 要るやんない (でしよう)、そやけど (しかし) 振り袖ん (に) すると、一尺五寸で 出来んの (出来るのです)。三角に したるもんで (してやるので) 布な よけ 要らんもんで (ので) そしといて (そうして) 袖付な (が) どいろお (大きく) なる やんない (でしよう) 口は ちつそおて (小さくて) 働きやすいもんで (ので) 昔や (は) 皆なあ ネジリツッポや (です)。

**ねじる** (ねぢる) (振、捻、拗) 【自ラ五】1) 指先で人の皮膚などをつねる。ひねる。曲げる。2) 理屈をこねて苦情を言う 脅迫する 3) 人の意見に反対する

逆らう [会話] 1) てのぐい (手拭) でもなあ ネジツテ しばん (絞る) のを ネジルなあ、えごと (十分) もっと しっかり ネジタレマア (てやれ) 言うて 絞んの (るのを)。

**ねじれる** (ねぢれる) 【自ラ下一】物事が難かしくなる あらぬ方向に向って行く [会話] ネジレテテ (ていつて) まあ そやれ (それ) 真ん中な (が) 一つ ネジレトラレ (ている) 言うてな なあごお (長く) 引っ張るとなあ。

**ねじる** 【名詞】いつも寝泊りしている処 [会話] そこ い 行て 寝泊り する 人 あの家 ネジロン (に) しと んねない (しているのだ) 言うて。 ネジロン (に) しと る (している) 言うて、寝る あじろ (自分の場所) 言うのをなあ、あしこ (あすこ) ネジロン (に) しとんね (しているのだ) 言うて じょおく (いつも) 其処い (へ) 寝えん (寝に) 行くとなあ あしこ 寝る城ん (に) しとる 言うのをなあ ネジロン しとる 言うて。

**ねじわ** 【名詞】ごろ寝などをしたために出来る着物の皺 [会話] ネジワ。寝て、皺ん (に) なん (る) のを きもん (着物) をなあ まるね (着たまま寝る) すると こやれ (これ) ネジワ したて まあ (してしまって) 言うてなあ。きもん のがんと (脱がずに) そん なり (そのまま) 寝ると まるね や (だ) 言うて まるね して ネジワん (に) したたよお (してしまつた) 言うて

**ねずみあし** (鼠足) 【名詞】茸 ねずみたけに同じ ほうき茸 (志、鳥、四、鈴市、津、松、阿、張、名、度、伊) [会話] ネズミアシ、鼠の足ん (に) そん なり なあ (そのままです)、旨いの そして よつけ (沢山) ひととこいなあ (一ヶ所に) 固まって 鼠の足 みたよん (のように) しとて (していて)。

**ねずみごぼち** 【名詞】鼠取り器 (志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥、度) [会話] 鼠かけ んのなあ (かけるのです) ごぼち 昔や (は) 皆 かけ おったわい (かけて居ました)。ネズミゴボチ、土でしといて (しておいて) といたごぼち やり おった (仕掛けました)。あんな (あれが) 一番 かかり お った (掛って居ました)。といたごぼち 四角な 入れ箱 (容器) い (に) 真ん中い (へ) 棒な (が) たつ とて (立って居て) 上い どびん (土瓶) 位 土 も つて (盛って乗せて) 中に ばねん (に) なつとて (なつて居て) えさ (餌) な (が) 播いて 有る やん ない (でしよう) そすと (すると) その ばね へ 登ると

ばたんと行くよん(ように)。

**ねずみざめ【名詞】** 鮫 おながざめ どちらめ

**ねずみたけ【茸】【名詞】** 鼠あし ほうきたけ 短たい  
茎は数回分裂し先端部は細かい突起状をなし、密生する 全体肉質でもろく香りは殆ど無い。上部の枝は淡紫色 或は紫紅色であるが他の部分は白色に近い。

(四) [会話] ネズミタケ言う たけ(茸) な(が) 有りおったなあ(有りました)。単のてえ(手) みたよん(のように) しとんね(して居るのです)。ばらけて ほっそお(細く)して、うまいなあ(美味しいのです) どれい(大変)。単の色して 単の手みたよん(のように) しとんねてや(して居るのです)。かたまつて(集まって) 出て、採て(採って) 来るとうもおて(美味で)。

**ねずみとり【茸取】【名詞】** 青大将(志(鶴方、志島)、四、飯、上、阿、名、南) [会話] ネズミトリ 言うて まむし(蛇) のすじ(線) のあんのを(有るのを) ネズミトリや(と) 言うて、だんだらすじ(模様) な(が) 有って 茶色と 黒で そして(そうして) 大き(大きく) なんねてや(なるのです) そんな又(それが)。ネズミトリや(だ) 言うて 家の二階ん(に) でも おりおった(居ました)。にかえ(二階) よお(よく) 入って 来んのなあ(来ます) 単な(が) おるもんで(居るので)。

**ねずりこ【名詞】** おしゃぶり ねずる参照(志(鶴方))

**ねずりんこ【名詞】** おしゃぶり(志)

**ねずる【他ラ五】** 舐る ねぶる(志(片田、浜島、布施田、鶴方、志島、甲賀)) [会話] ネズル 舐める事舌で舐める事を ネズル。何でも 皆 ネズル 言うね(言うのです)。茶碗も ついとんの(て居るのを) ネズル言うて。おしゃぶりや なんや、昔や(は) べろべろ(飴で作った菓子) ネズツテ言うて、べろべろ ネズツテ くちや(口わ) わややれ(無茶苦茶だ) 言うて。子供らな(の) おしゃぶりの時 あれも ネズル 言うて。ネズリコ 言よおったやんかい(言って居たで有りませんか) 真ん中な(が) 持つよおん(ように) しとて(して居て) 舐るもんで(ので) ねぶりこや(と) 言うて、きい(木) の おおを(のを)、セルロイドは 危ないもんで(ので)、昔や(は) きいん(木) のおな(のが) してありおったわい(して有りました)、そして 笛ん(に) なつとて(なつて居て) びいっと 吹くよん(ように) して。  
**ねぞお(ねざう)【寝相】【名詞】** 寝て居る様子 寝た姿

**ねそこなう(ねそこなふ)【寝損】【自ラ五】** 寝る機会を失って、容易に寝れない

**ねそこねた** 眠りそこなった

**ねそこねる** 寝そびれる 寝る機会を失う(熊)

**ねそこのた** 眠る機会を失った

**ねそびれる【自ラ下一】** 寝ようとして寝つくことが出来ない 眠りそこなう(志(布施田)) [会話] ねえそこねた(寝そこなった) 言うの ネソビレル 言うやんかい(言います)。寝てくやつたのを(て行くだったのを) 人な(が) 来て ねられらつて(寝れなかつて) ネソビレル 言うなあ(言います)。

**ねそべる【自ラ五】** 腹這いになる 横になって居る そべる 長々と横になる(志(鶴方)) [会話] のたつとると(横倒しになって居ると) ネソベルてやら(とか) ぞろねこいててやら言うて、だんばらかやす(返す) 言うな(のは) こおして あおぬいとんの(仰向いて居るのを)。ぞろね 言うな(のは) 横ん(に) なつたりすると ぞろねこく言うて。どじもんぐさ(怠け者) やよつて(だから) ぞろねこいて 晝ひんなか(晝中) から言うて、昔や(は) 笑いおつたの(笑って居たのです)。今しゃ(今は) ぞろねこいとも(て居ても) なんも(少しも) そげん(そんなに) 言わせんけど(言わないが)、昔や(は) 忙しのんなあ(忙がしいのに) 寝たり ころどり(転んだり) しとんねかいなあ(して居るのだろうか) おもて(思つて) そげんしとると(そんなに居ると) 羨やましよおん(ように) 思いおつたなあ(思いました)。

**ねだ(根太)【名詞】** 床下の横木 [会話] ネダ 家のネダ ここの下の 板の敷くのを ネダや(と) 言うて。

**ねたかい** 寝ましたか 夜、他家を訪れる時の挨拶 [会話] ネタカイ言うな(のは)、やすんだかい(寝ましたか) 寝たんかい(のですか) 言うてなあ、ちよいと(少し) おっそお(遅く) になるとなあ、寝たんかい 言うてなあ、まだやよお(です) 転んどんねよお(でいるのです) 言うてなあ。

**ねたがい【名詞】** 寝て居て首とか腰の筋肉を痛める事 [会話] 首をひねつたと(てやると) ネタガイたて まあ言うて 首な(が) いごかん(動かない) よん(ように) なつてく(なつて行く) 時な(が) あんね(有るのです)。

**ねたかい【形容詞】** 価が高い 高価である [会話] ひなでこ(市松人形) こおて(買って) もらお(もらお

う) 言うたや (言ったら) どいらい (大変) 金持ちの家や (で) なけな (なければ) こおて くれよかい (くれません) あいな (あんな) ネダカイ もん (物)。

**ねたがえ**【名詞】寝て居て 体の筋肉を痛める事 寝違  
い ねたがい

**ねたかれ** 寝ましたか 寝てしまったか [会話] ネタ  
カレ 言うな (のは)、おみや (貴女は) 寝とたやん  
か (寝ていたでないか) 言うてな、寝とた (寝てい  
た) ねやら (のか) 寝とらへんやら (寝ていないの  
か) 知らんのを 言われた時んなあ (に)、おや (俺  
は) ネタカレ 言うのなあ (です)。おや (俺は) なん  
も (少しも) 寝てからった (寝て行かなかった) お  
もたけど (思ったが) ほんえ (本当ですか) ネタカレ  
寝てたんかいなあ (寝て行ったのでしょうか)、知ら  
らったよお (なかった) 言うてな。わがた (時分は)  
うつつしとて (していて) 寝やせん (寝ない) つも  
りて おんね (居るのです)。

**ねたきり** 寝たままの

**ねたくる**【他ラ五】よく寝る [会話] ネタクル 言う  
な (のは)、寝て寝て 寝っからかす (深く寝る) 事  
を、寝こつとる (ている) 事をなあ、ネタクツラレ  
(ている) ねごいも 一緒や (です)。

**ねだごし**。**ねだごち** すべて すっかり (志 (布施  
田)) [会話] なんやかや (色々) 全部の事を ネ  
ダゴシ 言うて。

**ねたた** 1) 寝てしまった (志 (布施田)) 2) 寝てや  
った

**ねたまし** (嫉)【形容詞】うらやましく憎らしい くや  
しい 残念だ [会話] ネタマシ 言うな (のは) けな  
りがる (うらやましがる) 事なあ (です)。ま どい  
らい (大変) せえこお (成功) しとて (していて)、  
おらも (俺も) あげんして (あんなにして) せえこお  
したいなあ おもて (思って) けなりがんの (うらや  
ましがるのを)、おらげも (俺の家も) あの人 みた  
よん (のように) になりたいわなあ、金持ちん (に) 言  
うのを、ネタマシがとる (がっている) けなりがる  
とか、うらやましがるとか 言うのをなあ。

**ねたみ** (嫉)【名詞】恨み [会話] あ しえんしえ  
(先生) 習字 教えん (に) 来て 首玉へ 水入れか  
ら しゅっと 水さして (入れて) おこすよつて (よ  
こすので)、がっこ (学校) おりと (卒業すると)  
皆 ネタミ 持つとて (ていて)。

**ねたむ** (嫉)【他マ五】うらやみて、憎む 他人の吉事

を見て羨ましく思う

**ねだめ** (寝溜)【名詞】先に寝れない程忙しいのに備え  
て予め寝ておくこと

**ねだやし** (根絶)【名詞】根まで取り去って、再生の余  
地を無くす事

**ねたれ** 1) 寝てやれ 一緒に寝てやりなさい 2) 寝  
ました [会話] ② やすんだ (寝ました) 言うのを  
ネタレ 言うてなあ。寝ました 言うのを ネタレ 言  
うて。① まあ あの子と 一緒ん (に) ネタレ 言う  
てな こお (子供) な (が) 一人 寝やまい (寝た  
くない) 言うとる (言っている) もんでなあ (の  
で)、あ こお (子) と 一緒ん (に) 寝てやりな  
さい言うの ネタレ 言うてなあ。

**ねだれ**【名詞】寝る前になると機嫌の悪いこと [会話]  
寝る時ん (に) 泣くと ネダレして 言うて、おれげ  
ん (俺家の) このかあ (子は) 寝る時ん (ん) ネダレ  
して いつ迄 泣いとんね (ているのだ) 言うて。

**ねたろ**【動詞】1) 寝てあげましょう 2) 寝てあげな  
さい 3) 寝ましょう [会話] ① ネタロ、そんなら  
(それなら) だれ (どれ) おんな (俺が) ネタロ 言  
うて ねえに (寝に) 行く事をなあ、あの子な (が)  
さびしいて (寂しくて) 寝やれやせんねてわれ (寝れ  
ないそうだ)、だれ (どれ) おんな (俺が) ネタロ  
言うてなあ、ねえに (寝に) 行く事をなあ。③ 俺も  
あの子な (が) 来る迄 ひとねり (一眠り) ネタロか  
いなあ 言う時も あんのんなあ (有ります)、あ  
んな (彼が) 来る迄 起きとられやせん (ていけない  
し) ちよいと (少し) ネタロかいなあ 言うて。

**ねたろ**【名詞】寝太郎 よく寝る人 [会話] 寝てばっ  
か (ばかり) おると あやまあ (彼は) ネタロで ね  
えさいしゃ (寝さえすれば) ええね (よいのだ) 言う  
て、寝太郎 言うて

**ねたんかい** 寝ましたか [会話] まあ ネタンカイ 言  
うて、やすんだかい (寝ましたか)、言う人も有るけ  
ど (が)、ちよいと (少し) おっそお (遅く) となると  
まあ ネタンカイ 言うて。

**ねちがえ** (ねちがへ) (寝違)【名詞】睡眠中無理な姿勢  
に依る筋肉の障磚で目が覚めると首などが痛くて動ご  
かせなくなった状態 ねちがい [会話] 首をひねっ  
たと (てやると) ネチガエたてまあ 言うて、首な  
が いごかん (動かない) よん (ように) なつてく  
(なつて行く) 時な (が) あんね (有るのです)。腰  
も ちよいと (少し) ひねつたて (てしまつて) 言う  
時ん (に) ネチガエたて (てしまつて) 腰を言うて、

寝返りすんのん (するのに) ひねったたや (てしまっ  
たら) ネチガエたて 言うてなあ。

**ねちこい【形容詞】** しつこい ねちこい ねちねち  
して居る しつこく いつ迄もこだわって居る ね  
ちねち ねばつくさま ねとねと 性質ややり方があ  
っさりしないさま ねっちりくどい (志 (浜島)、鳥  
伊、員、鈴木、安、松、上、阿) [会話] こや (此  
は) ネチコイなあ言うて、なんでも (何でも) ねちね  
ちと しとると (して居ると) ネチコイナア 言うし  
(言います)。にげ (人間) でも しつこいと ちょ  
いと (少し) しね (芯) な (が) 有るよおな にげや  
(人は) ネチコイ 言うて、あっさりと せんと (せ  
ずに) 重々しよおん (に) しとると ねつこいよおん  
(ように) しとて (して居て) 言うて。ねつこいも  
ネチコイも 一緒の意味やけど (だが) 言い方な  
(が) そげん (そんなに) 言う にげ (人) も 有る  
し (有ります)。

**ねちこちする** ぐずぐずするさま 挙動のはっきりしな  
いさま ねちねちする ねちこい参照 [会話] 仕事  
すんのんなあ (するのに) ネチコチシトラント (して  
居ずに) 早よせえまあ (早くしなさい) 言うて、手な  
(が) ねばい にげや (人間は)。あんだけの事 (あ  
れだけの事) するばかん (ばかりに) いつ迄 ネチコ  
チシトシネヤカナア (して居るのだろうか) 言うて、  
したよな (ような) 事 ばっか (ばかり) しとて (し  
て居て)。手な (が) ぬるい 言う事や (です)、てね  
ば 言う事や。手な (が) 早い にげ (人間) なら  
(ならば) ちゃっちゃつと (手早く) したんねけど  
(してやるのだが) 手な (が) ねばいもな (者は) い  
つ迄 したよな事 ばっか しとると (していると)  
おおた (やれやれ) 面倒臭いなあ おもて (思っ  
て)。てねば 言うのは どんくさい 手な (が) おっそい  
(遅い) 事 のろくさい事を、なんしても (なにをし  
ても) ネチコチと ごとごと ごとごとして はっき  
り しやせん (しない) のを てねばや (です)。  
“うちのおかかは 何をさしても 手ぬるいくせに  
抜けたちんぼを 入れる その手の 早さ、今朝も  
茶釜の湯で ぼぼ あろた (洗った) “

“女の木登りや (は) 面白い 下からのぞけば  
穴が有る 鉄砲傷か 槍傷か あれば へのこの こ  
すり傷”

**ねちねち【副詞】** 1) 粘りつくさま 2) 時間がかかる  
さま 手のろいさま (志 (布施田))

**ねちやがえす** 粘りつく べとべとする [会話] くそ

たれもは 干しても びちやびちやしとて (してい  
て) なかなか 乾かせんの (乾かないので) ネチヤ  
ガエシテ 来て。

**ねちやつく【動詞】** ねばねばする ねばる (志 (布施  
田)) [会話] ねばんの (る) をなあ、ネチヤツク  
言うね (言うのです)、ネチヤツイとられ (ている)  
言うてなあ ねばねばしとると (している)。

**ねちやねちや【副詞】** 粘りつくさま

**ねちる【他タ上一】** 髪などが臭くなる ねばりついて臭  
気が強い (志 (片田)) [会話] へえ (屁) も臭い  
屁ひると ネチトル (て居る) 屁ひった、大便でも  
すつと出やんと (出ずに) ネチテしとる時な (が) 有  
るわい (有ります)。髪の毛が 臭なって来るの (の  
も) ネチル。臭い ネチル言うて 臭い 屁な (が)  
ねがつて (粘って) 来る 言うねやるなあ (言うので  
しょう)。大便が ネチル 言うな (のは) 便な  
(が) 出やん (出ない) 事を ネチトテ (て居て) 出  
やせんとか (出ないとか)。

**ねつこい【形容詞】** 執念深い しつこい 根気強い ねち  
こい参照 (鳥、員、上、張、名) [会話] ねちこいと  
一緒や (です)。ネツウテ (くて) ネツウテ しねこ  
おて (執念深かくて) いつ迄 しねな (わだかまり  
が) 有って 味噌ん (に) 骨な (が) 有るよおん  
(に) 言いたい事 思う事 よお言わんと (ずに) な  
んやら (何か) 言うたると (言つてやると) さっぱり  
すんねけど (するのだが)。さっぱりしたや (してや  
れば) ええけど (よいのに) 言いたそおん (そうに)  
しとんのおを (して居るのを) ネツイ 言うて。 あ  
や (彼は) ネツウテ いつ迄 しねな (が) 有って  
言うたよおな事ばっか (ばかり) 言うとる (言つて居  
る) 言うて。おもた事 (思った事) はっきりよお言わ  
んと しとるのおを (して居るのを) ネチコイ 言うて。  
味噌ん (に) 骨な (が) 有るよん しとて (してい  
て) 言うて 言うやんかな (言います)。そいな (そ  
んな) ネツイよおな にげ (人間) は、はっきり 言  
うたや (てやれ) ええねけど (よいのだが) 言わんと  
(言わずに) おつて 苦いよん (ように)、顔して  
しとると (していると) すかん (好まない) にげや  
(人間だ) 味噌ん骨な有るよおな にげやなあ 言う  
て。味噌ん (に) 骨な (が) 無いもんやのおに (物だ  
のに)、にげな (人間が) しねな (が) 有る事を 味  
噌ん骨な有るよおな 言うて、やいこい (柔い) ねや  
ら (のか) かったい (堅い) ねえやら ネツコオテ  
味噌ん骨な有るよおな にげ や (だ) 言うの。

**ねっから (根) 【副詞】** 1) 一向 全く 一寸も 根からの転 始めから、生れつき もともと 全然さっぱり (志 (立神)) 2) 根本から 心底から すべて すっかり (志 (浜島、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥、伊、桑郡、桑市、三、鈴市、鈴郡、安、津、一、松、上、阿、張、名、度、尾、南) [会話] 2) ネッカラ判らせん (判らない) とか、ネッカラ出来やせん (出来ない) とか 言うやんかい (言います)。1) ネッカラ 来やせん (来ない) とか、人が来んと (来ないと) ネッカラ言う と 一つも (少しも、全く)、ひとおつも (全く) 来やせんなあ (来ない) 言うて、あのひた (人は) よお (よく) 来よおったけど (来て居たが) 此のgora (頃は) ネッカラ来んよおん (来ないように) なってたなあ (なって行った) 言うて。2) ネッカラ あんごし (馬鹿) ねよって (のだから) ねえ (根) から あんごしね (のだ)、あやまあ (彼は) おおね (大根) な (が) あんごし ねよって 言うて。

**ねっからかしたる** 熟睡している ねっからかす参照

**ねっからかす** 熟睡する (志 (布施田)) [会話] 寝て寝て ネッカラカシトル (て居る) 言うて、寝てばっか (ばかり) おると、おきんと (起きずに) 寝とると (て居ると)、寝て 寝て ネッカラカシトラレ (て居る) 言うて。一日 寝とんのおを (寝て居るのを) 飯も喰わんと (食べずに) ネッカラカス。

**ねつきいお 【名詞】** 常に海藻の茂る所や岩礁に住み、遠くへ移動しない魚の総称 [会話] 島についとる (ている) 魚、回って来る魚やなしん (でなくて) 年中其処ん (に) おる魚、ネツキイオ 言うて、あじろん (得意の場所に) したる (している) 言うねやかなあ (言うのでしょうか)、あやまあ。

**ねつく 【自カ五】** 1) 眠むる 完全に眠りに入る 2) 長い間病床にある 病気で寝ている [会話] 2) 病氣 したる (している) 時でも あの 人 長い事 ネットク 言うて 寝とると (寝ていると)。

**ねづく (根付) 【自カ五】** 1) 植えた植物が土になれ根を張り生育するようになる 2) 落ちつく [会話] 2) 根が付く言う事や (です)、そこな (が) 好きで あしこん (あすこに) ネットイトンネ (ているのだ) 言うて、あじろ (自分の場所) ん (に) したる (している) 言うの (のを)、ねえ (根) 付けとんね (ているのだ)。1) 植えたもん (物が) ネットクまあ ねえ (が) 有りついて (落ちついて) しっかりなつたれ (なりました) 言うてなあ。

**ねつくさい (熱臭) 【形容詞】** 病気などで体温が高く発汗しその臭いと熱氣が入り混じて生ずる臭い [会話] ネットクサイ言うな (のは) 汗臭いよおな、風邪引いとる (ている) にげ (人間) な (が) なんやら (なにか) ほとり臭い かざ (臭い) な (が) する、そいなのおを (そんなのを) あんで (あれで) ネットクサイ言うんやろなあ (言うのでしょうか)。

**ねつくだり 【名詞】** 高い熱が出て、下痢する事

**ねつけ (根付) 【名詞】** 1) 巾着 煙草入れなどを帯に挟んで下げる時、落ちないようにその紐の端につける留め具 珊瑚 象牙などを材にした物が多い 2) いつも人の後についている人 腰巾着 (南) [会話] 2) 煙草のネットケン (に) したんね (しているのだ) 言うてなあ、そのにげ (人間) ん (に) つきやあるいとるとなあ (まわりついてると) あやまあ (彼は) ほん (本当に) ネットケン (に) したんね よってん (して居るのだから) 言うて。医者な (が) 往診する時につけてくやんない (つけて行くでしょう) 看護婦を、靴持ちすん (る) のを ネットクや (です)。煙草入れのネットケ、ネットクやなあ (だ) あやまあ (彼は) 言うてなあ。

**ねつけ (熱気) 【名詞】** 体温が普通より高い感じ (志 (立神)) [会話] ネットクや (だ) 言うて、ちよいと (少し) 今日は かざけ (風邪気味) なんかして (なのか)、熱な (が) あんね (有る) かして (のか) 言う時も ネットク言うね (言うのです)。

**ねつこい 【副詞】** くだい しつこい 粘り強い ねちこい参照 (志 (立神)、鳥、安) [会話] にげ (人間) でも しつこいと ネットコイ言うて、あっさり 言わんと (言わずに) 重々し (重々しい) よおん (ように) したると (していると)、ネットコイよおん して (していて)、ネットコイも ねちこいも 一緒や (です)。

**ねつこつ 【名詞】** 極く近い所 ねっこ (根っこ) と関係有る語か (志) [会話] すぐんと (すぐ) そこんのおを (そこののを) そこん (其処に) ねき (側) ん (に) おんのおを (居るのを) ネットクツ。ネットクツん (に) おんない (居ます)。ネットクツ迄 ほぜつたたよお (掘ってしまった) ほぜつておこした (掘ってよこした) とか、あの家や (は) おらげ (俺家) の石垣の ネットクツ迄 掘って来たれ (来た) てやら (とか) 言うて、そいな (そんな) 時ん (に) ネットクツ。ネットクツ 近つかい (近い) とこ (所) を、一番近つかいとこを ネットクツ迄 掘って来たとか、ネットクツ

ん(に) おんな(居る) 言うて ねき(近く) に居る  
言うて。

**ねつままし(熱冷)【名詞】** 解熱剤 発熱した体温を下  
げるためのもの [会話] めめず(みみず) は、ネツ  
サマシで煎じて飲んだ事な(が) あるよお(有りま  
す)。

**ねっそり【副詞】** 不活潑 のっそり 動作が鈍くゆっく  
りして居るさま ぼんやり立って居るさま(阿、上、  
張、名) [会話] ネツソリ 言うな(のは) ねちこち  
しとる(して居る) 言うの(のです)。ごてごてしと  
る 言う事やわい(です)。ネツソリや のっそりや  
(だ) 言うて、ねちこち しとらんと(して居なく  
て) はよせえまあ(早くしなさい) 言うて。ねちこち  
と なんさしたて(何をさせても) 言うて。

**ねつちもこつちも【副詞】** どおにもこおにも ねじもこ  
じもならん参照 [会話] ひねくれとると(すねてい  
ると)、あやまあ(彼は) ネツチモコッチモ いごか  
せんわれ(動かない) 言うて。

**ねつちらい【形容詞】** しつつこい(志)

**ねつっこい【形容詞】** 粘ばっこい 執念深い ねつこい  
の促音化(広辞苑) [会話] なんやら(何か) 執念深  
いよおなな(が) 有るやんかい(有ります) ネツッ  
コイよおな。

**ねつっぱい【形容詞】** 熱が有るようである。

**ねつびやお(ねつびやう)(熱病)【名詞】** 体温が異常に  
高くなる病気の総稱 [会話] 熱な(が) すん(る)  
のを ネツビョオや(だ) 言うてな。三十九度も四十  
度も なって来ると こやまあ(これは)、ネツビョ  
オやなあ(だ) 大熱やなあ 言うて、“ちんぼ(陰  
茎) 大熱 早よ かか(妻) 貰え おめか(女陰  
は) 犀角、熱さまし” 言うて 昔や(は) 犀角で 熱  
さましよおった(さまして居たのです)。

**ねつもつ(熱持つ)【名詞】** 体温が高くなる 腫物などのためそ  
の部の温度が上がる [会話] 熱持って来たなあ言うて  
なあ、ほかほかすると あっこお(赤く) なって来ると  
なあ こや(これは) ネツモットテ(ていて) こや  
れ(これ) あっこお なって来たれ(来ました) 言う  
てなあ。

**ねつらう(ねつらふ)【他八五】** 狙う うかがう(志  
(布施田、鶉方、神明、志島、甲賀、国府、安乗)、  
鳥) [会話] ネツラウ 言うの(のは) 考えとて  
(て居て) あれ 取ったろか(てやろうか) 此れ 盗  
ったろか 言うて ネツロトンノオを(狙って居るの  
を) 言うねやんかい(言うのです)。娘を ネツラウ

言うて。ネツラウ 言うのは 猫な(が) 魚 ネツロ  
トル(て居る)。機会を 伺かがつとる、娘も ネツ  
ラウ あのかあ(子は) ええなあ(好ましい) おもて  
(思って) しとんのを(して居るのを) ネツロトル  
言うて、何処いも(へも) 貰われたらん(貰われたら  
ない) うちん(間に) 嫁 貰いん(に) いかなはざん  
(行かなければいけない) 言うて。

**ねつらこい【形容詞】** 執念深い [会話] こげん(こん  
なに) してくれ(下さい)、あげん(あんなに) して  
くれ 言うてな それ いくくら(幾度)も 頼むと  
なあ、しつこお(しつこく) 頼むとなあ、おおた ネ  
ツラコイ 言うて。幾くらも ひちくどお(しつこ  
く) 言うて、おおた ネツラコイ。あんな(彼が) 来  
ると おぞげやれ(嫌だ) 言うて 執念深いなあ。

**ねつろとる** 狙っている うかがっている(志(布施  
田)) [会話] あれまあ おんな(俺が) 人な(が)  
おらんうちん(に) 早よ もろてこん(貰らって行こ  
う) おもてなあ(思って)、めえ(目) 掛けとんの  
(ているのを)、あれ ネツロトル。猫な(が) 魚な  
(が) 置いて有ると ネツロトテ 人な(が) 見とら  
せんと(ていないと) ひゅつと とてくやんない(取  
って行くでしょう) ネツロトル 言うのなあ 隙 う  
かがつとる(ている) 言うねなあ(のです)。

**ねておくれ** 夜、人と別れる時の挨拶 寝て下さい  
(志)

**ねてきのくい** なかなか 眠れない 就眠困難

**ねてきや** 寝て行けば [用例] はよ(早く) ネテキャ  
ええのん(よいのに)。

**ねてく** 1) 寝て行く 2) 倒れる 3) 死んで行く  
[会話] ② 台風の後やら(とか) 風のえらい(大変  
な)日に 倒れててく(ていくと) 麦もネテタ(倒れた)  
言うて、たっこお(高く) 立つとんのおな(立っ  
ているのが) ネテクと。

**ねてけ** 寝ていけ(志) [会話] こお(子)を おんど  
て(負んでいて) 泣くと、はよ(早く) ネテケま  
あ言うてなあ。泣いてばっか(ばかり) おらんと(居ず  
に) はよ ネテケ、おれげ(俺の家) ん(の) この  
あ(子は) ねだれ(寝る前にぐずる) すんのでなれ  
(するので) 言うてなあ。雨な(が) 降る時んなあ  
(に) 家へ 帰りのくい(にくい) 時ん(に) おれげ  
い(俺の家で) ネテケまあ 此の雨な(が) ふんのん  
(降るのに) 行かんと(行かずに) 言うて、泊つてけ  
(ていけ) 言うの(のを) ま ネテケまあ言うて。

…**ねてや** のです [用例] そいな事(そんな事) する

と ハザンネテヤ (駄目なのです)。

**ねどき** (寝時) 【名詞】 寝るべき時、寝る時分

**ねどこ** (寝床) 【名詞】 寝床 布団 寝るための布団  
寝室 (鳥、多、上、張、名) [会話] ネドコ 寝ると  
こ (所)、布団敷いて ネドコ とっつけよお (とっ  
ておきなさい) 言うて、ネドコも しとけよお (して  
おきなさい) 言うて、布団 敷く言う事を ネドコと  
っつけ、ネドコとる 言うて。布団 延べとけ (てお  
け) 言うの とこ しいとけよ (敷いておきなさい)  
言うて、朝 畳んで 入れとけ 言うの (のは)、と  
こも しもとけ (しまっておけ) 言うて。ネドコ 言  
うのは 布団の事 布団の事 ネドコ 言うて。すけ  
べ男 (助平男) のとこ 急ぎ 言うて。

**ねどころ** (寝所) ねどこに同じ (志 (布施田)、上、阿、  
張、名)

**ねとつく** (慈カ五) 粘りつく 粘り気が有る (志 (布施  
田))

**ねとぼけ** (寝惚) 【名詞】 1) 寝ぼけ 寝とぼける 寝  
惚るに同じ 目を覚ましたばかりで意識や感覚が戻ら  
ずぼんやりして居る、就寝中に目が覚めないままで起  
きあがり、おかしな行動をする たわいの無い事や、  
訳の判らない事を言ったりする 2) 馬鹿者 [会話]  
1) 寝惚けとる (て居る) 言う事 ねぼけ ネトボケ  
なんでも (何でも) すら (知らぬふりをする) みたよ  
おん (のように) しとると (して居ると) とぼけると  
か 言うて。寝とて (て居て) ぼけたよおん (よう  
に) 言うるとと (言っている) あや (あれ) 寝惚け  
とて (て居て) 言うて、“寝惚けた 婆さん 尿瓶  
で、茶やれ (だ)”。

**ねとぼける** (寝惚) 【自力下一】 目がさめても夢うつつ  
で居ること 寝ぼけること [会話] ねぼけてなあ、  
しょんべたご (小便所) いつも こっちや (こちら)  
やのおに (だのに)、だいどこ (台所) の方い (へ)  
いて (行って)、押し入れい (に) しょんべ (小便) し  
たり しとる (している) 時んなあ (に)。ねぼける  
にぎやなあ (人間は) ネトボケテ、そやれ (それ) だ  
いどこ むいて (向って) 行かない (行くのだ) そや  
(それは) 違うやんかあ (ぞ) 言うて おめいて (叫  
んで) そや だいどこ やどお (だ) 言うど、性根な  
(が) 付いて くんねけど (来るのだが)、それ迄  
つかせんね (つかないのです)、ネトボケテ 方向な  
(が) 判らんよん (ように) なってくね (行くので  
す)。

…**ねどよお** (接尾語) のだ [会話] あや (彼は) まい

とんネドヨオ (狂っているのだ)

**ねどり** 【名詞】 1) 網をくる人 2) 根本をおさえるこ  
と (志 (布施田)) [会話] 2) どおづき (地固め) の  
杵のネドリする にげ (人間) や (は) 力な (が) え  
ろなけな (強くなければ) はざんねてや (いけないの  
です)、まっすぐん 穴い (へ) 落とすのおに (の  
に) ネドリや (だ) 言うて、ふたあり (二人) か、三  
人 ネドリ しとらんと (していないと) しゃくり飛  
ばされんねやんかい (はね飛ばされるのです)。

**ねとる** 寝ている [用例] 爺やん まだネトル。

**ねとんねけど** 寝ているのだが [用例] 風邪引いて  
ネトンネケド 用事かい (ですか)。

**ねとんない**、**ねとんねない** 寝ているのだ [会話] お  
ひいさん (太陽) な (が) 出て来たのん (のに) あや  
あれ (あれ) ネトンネナイ。

**ねとんの** 寝ています 寝ているのです

**ねなおす** (ねなほす) (寝直) 【自サ五】 一度起きて 又  
寝る

**ねながれる** 1) よく睡る 2) 睡むり続けて死んで行  
く [会話] 2) ネナガレテク 言うて こお (子) もお  
けた (生んだ) 疲れと 働いたおり (時) の 疲れと  
出て 安心して寝て ネナガレタ人な (が) あんねや  
るなあ (有るのでしょうか)。

…**ねなし** (接尾語) 1) 文末に有って、否定を表す 2)  
文末に有って、肯定を表す [用例] 1) 言うたてて  
(言っても) 聞くネナシ。

…**ねに** です ですよ (三) [会話] そおやに (です)  
言う人も 有るし、行って来たネニ (行って来たので  
す) 言う人も 有るし (有ります)。

**ねにくい** 寝ぬくい 寝つのが困難だ [会話] 眠む  
りの (に) くい言うのを、ネニクイ言うのなあ (で  
す)、ねてきのくいのを (寝て行きにくいのを)。

**ねにもつ** その事を深く心において、恨む。意趣を持つ  
[用例] いつまでも ネニモツテ 嫌いやなあ (嫌  
だ)。

**ねね** 【名詞】 姉 ねえ参照 (志 (片田 浜島)、鳥、度、  
伊) [会話] ネネヨ 言うて 姉さんの事をネネヨ  
言うの (のです)。長女でも 二番目でも 一番妹な  
(が) 姉さんに ネネヨ 言うて、小守やなしん (でな  
くて) わがと (自分) より おっきいと (大きいと)  
ネネヨ 言うて。

**ねね** 【名詞】 赤ん坊 乳児 (志 (浜島)、鳥 (加茂、坂  
手)、桑市、桑郡、員、三、鈴市、一、多、上、阿、  
張、名、度、伊、北、尾、南、熊)

**ねね** 寝ること 幼児語 (志、伊)  
**ねねくさい** 幼稚である 子供っぽい (北、尾、南)  
**ねねこ** 【名詞】 乳児 (志 (浜島)、南)  
**ねねさん** 【名詞】 1) 赤ん坊 (一、上、阿) 2) 人形 (志、鳥、上、阿、張)  
**ねねよ** 若い女の人に呼びかける言葉 ねねさん 長女 ねえやん 参照 (志)  
**ねねんこ** 女の子 (志) [会話] おれげ (俺の家) の ねねな (が) なれ (です) 言うて おなご (女) の こお (子) を ネネンコ。  
**ねのくい** 眠りにくい 寝付くのが困難だ  
**ねば** (粘) 【名詞】 1) 粘っこい事 2) 粘土 (志 (船越)、四) 3) 粘液 [会話] ② ねばつち、ネバ。昔や (は) ねばつちや (だ) 言うて、子供の時分 (頃) に とて来て (採って来て) まるけて (丸めて) でこ (人形) こさえたり (作ったり)、粘土の代りに しおったね (して居たのです)。① 荒布のどけ (灰汁) も ネバルしなあ (粘ります)、御飯も ひにち (日を) 置いて ふつか (二日) でも おいとくと (置いておく) ねぐそ (ねぐさい、すい臭い) になって来ると、糸引いて ネバツテ こや (此れは) 糸 引いて 来たれ (来ました) 言うて。納豆みたいん (のように) 糸 引いて来んのなあ (来るのです)。そすと (すると) 昔の人ら こおと (質素、儉約) なもんで (ので)、それを あつうい (熱い) 湯で あるといて (洗っておいて) 又 喰うたり しおったわい (食べて居ました)。湯で いくくら (何度) も 洗るといて (洗っておいて) とおして 喰わんかれ (食べなさい) 言うて。なめなめを 取っといて (ておいて) 喰うもん (物) な (が) たしないもんで (不足して居るので) ほったんの (放つてやるのが) 勿体ない。湯通したれ (通してやれ) 言うのを 湯で とおじたれ 言うて、湯で 二、三回 とおじ といて 喰え 言うて。此れは 家 建てる時の 赤土とは 違う (違います)。家 建てんのは (建てるのは) 粘り気な (が) あんのは (有るのは) はざんの (駄目です)。瓦 おく (葺く) 時でも、赤土 採りん (採りに) いても (行っても) ネバツチではざんわれ (駄目だ)、ちよいと (少し) 粘るなあ言うて そいな (そんなのは) しゃかんや (佐官屋) は 嫌うわい (嫌います)、瓦 おいても、壁 塗っても さらつと しとらせんの (して居ないのです)。ねば土は粘って 粘って 粘土みたよん (のように) なんの (なるのです)。わしら (私達) まり (球) んして (にして) 打ちつけ

たり (投げつけたり) でこ (人形) こさえたり (作ったり) しおったよつて (して居たから)。粘土の代り やんかい (です)。ネバは。

**ねばい** (粘) 【形容詞】 1) 粘り気がある (志 (布施田)、上、阿、南) 2) ぐずぐずして手ぬるい どんくさい しつこい 執拗だ [会話] ② てえ (手) な (が) 早い にげ (人間) なら、ちゃつちやつと したんねけど (してしまうが)、てえなネバイ もな (者は) いつ迄 したよおな事 ばっか (ばかり) しとる (している)。

**ねばこい** 1) 粘り気が強い (上、阿) 2) 執拗だ ねばつく 参照 3) 根気強い

**ねばつく** (粘着) 【自カ五】 ねばねば する べとつく [会話] もおち (鳥糞) みたよん (のように) 引つ付くのおをなあ、ネバツク。荒布のどけ (分泌物) みたよななあ (のようだ) 言うて。あの人な (が) ねばねば と ネバツイテキテ 言うて、惚れとると (ていると) なんじゃかんじゃ (なんだかんだ、いろいろ) 言うて 寄って来るやんない (でしょう)、そいなのおも (そんなのも) ネバツク 言うてなあ。金 借せ 言うて ネバコオ ネバツテ (ていて) わしとか (私の所は) 金や (は) 無い 言うても、どんだけ (どれだけ) でも 都合して貰らわれやせんかい (ませんか) 言うて ネバツとんのなあ (ているのです)。粘つとて いやらしてまあ (嫌らしくて) どんだけ でも やらな (やらなければ) いごかせんね (動かないのです)、やれまあ (やりなさい) 言うて やると 持つて行くね (のです)。

**ねばっこい** 【形容詞】 粘り気が強い (南) [会話] ネバッコイ ねばりこい 粘り強いのも 一緒やわい (です)。

**ねばつち** (粘土) 【名詞】 粘りけのある土 粘土 (志 (片田、鶉方、越賀、浜島、畔名、神明、立神、甲賀)、鳥 (坂手)、桑市、松、上、阿、張、度、南) [会話] ネバツチ 言うて 粘る土な (が) ありよおったなあ (有りました)、ネバツチ とて (取って) 来てなあ、でこ (人形) こさえたり (作ったり) しよおった (して居ました)。赤土より はざんねてや (駄目なのです) こねると 赤土や (は) 掴むと ばらつと してくやんない (して行くでしょう) ネバツチや (は) 粘つとてなあ (ていて) 握っても 粘土みたよなのお (のようなのです)。土 喰うなあ 虫な (が) 有つてなあ あしこの (あすこの) 山の土や (は) 旨いね (のだ) あの山の土や (は) なんも (少

しも) 旨ないね 言うてなあ 休みな(が) すると 土 取りん(に) いてなあ(行って) 赤土を、そして それ食うてなあ 土 食う虫言うて よお(よく) 言ううなあ(言います)。

**ねばな(寝端)【名詞】**寝入りばな 寝たすぐ [会話] ねバナ 寝たばかりやて (ばかりだと) 言うやんかい (言います)。ちよいと(少し) 寝かけの時を ねバナ。ねバナ起されて言うて、気嫌な(が) わり(悪い)、生煮や(と) 言う(言います)。ねバナ起された 気持ちな(が) わりいて(悪くて) 言うて よお(よく) 言うやんかい。生煮えやもんなあ(だから) 言うて。なまね(十分に寝なかった) した言うのを 生煮や(だ)。

**ねばねば(粘粘)【副詞】**【形容詞】ねばりけが有って他の物によくくっつくさま(志(布施田)) [会話] ねバナべしとる(している) 言うんかい(のですか)、ねば土と 一緒や(です)。めえ(若布)の株や(だ)とか、ねばんのなあ(るのです) とろり薯(自然薯) ねバナ、若布のどけ(分泌汁)も ねバナべするし。

**ねばり(粘)【名詞】**もちこたえ 持続する力 耐える力 又その性質 弾力 [会話] ねバリな(が) 有って 旨いなあ 言うし、着るもん(物)でも あんまり かさかさしとると(していると) 弱いね(のです)、ちよいと(少し) ねバリけな(が) 有るよおなもん(物)は ええけど(よいが)、そやよって(だから) なん(に) ても ねバリけな(が) 有るとなあ、食うもん(物)でも ねバリけな(が) 有るもん(物)は 旨い言うて。

**ねばりけ(粘気)【名詞】**物にくっつく力 性質 弾力性 持続力 粘着力 ねばり参照

**ねばりこい【形容詞】**1) 粘り強い よく粘る 2) 執念深い(志(布施田)) [会話] 1) こお(粉)でもなあ、もちね(餅米)を、ちよいと(少し) 混ると、ねバリこオテ(こくて)、とびきの餅 搗いても、とびきや(とか) 栗 ばっか(ばかり) やと(だ)と さくさくしとてなあ(して) 餅ん(に) ならへんね(ならないのです)。もちね(餅米)を ちよいと(少し) 茶碗にはんぶ(半分)でも しとくと(入れる)と それの粘りで、とりよて(協力して) ええんけど(よいのだが)、ねバリこい言うのは、粘り強いのも一緒 やわいなあ(です)。

**ねばる(粘る)【自ラ五】**1) 言いはる 意地を張る 居すわる 2) くっつく(志(布施田)) [会話] 1)

ねバル言うな(のは) あれしてくれ(下さい)、これしてくれ、せえまい(しない) 言うても なんでもかあでも(どうしても)、それ してくれ 言うてなあ、きばって(力を入れて) しつこおネバノ(しつこく粘るのを)。しつこい事を言うのにねバル。2) なんでも(何でも)、手 ひつついても、飴な(が) ねバル。ねば(粘る物) ひつつけとんねなあ(て居る) 言うて、手な(が) ネバネモノデ(粘るので)。手な(が) のろいもんを(者)もおち 付けとて(て居て) てやら(とか)、ねば ひつつけとる(ている) てやら、くつつき きつとて(て居て) 離れやせん(離れない) 言うよおな のおやなあ(のです)。ねバリツイトラレ(て居る) 言うて、ねバリツカレテ言うて、しつこお言うとると(言っていると) 断つても そや(それを) 聞かん(聞かずに) どおあつても言うて、ねバツテ ねバツテしてもおた(て貰った) 言うて。手な(が) 鈍いのおも、ねばねばやれ(だ) 言うて てねばやれ 言うて、手な早いもんは、てばやのまんこやれ 言うし、手な(が) ぬるいもな(者は)、もおちひつつけとて(て居て) やら(とか)、粘つとて あや(彼は) まあ、てねばやなあ(だ)。もの言うても(言つても) ねんばり(ゆっくり) と言うとるにげ(人間) な(が) 有るやんかい(有ります)。ねちこいなあ 言うやんかい(言います)。あんな(彼が) もの言うな(言うのは) ほん(本当に) ねちこおて 嫌いや(だ) 言うて。

**ねびえ(寝冷)【名詞】**風邪ひき 睡眠中に冷気にさらされ身体を冷やしたために起る障碍 その結果おこる感冒、下痢、腹痛などを言う [会話] 寝て風邪引くのを よかぜ(夜風邪) 引いた、ねビエひいた。ねビエ言うな(のは) よさり(夜) さぶうて(寒くて) 風邪ひいた 言う。寝間着 のんどたり(脱いで居たり) すると おゝさぶいよ(寒い) おもた(思った) 折(時)に風邪引くのを ねビエした 言いおった(言っていました)。さぶ おもて すると あしため(翌日) 鼻な(が) つまったり、しとるやんかい(して居ます)。寝間着一つで 転んどたや(て居たら) さぶ(寒く) なつて来たね(のです)、知らんと(知らずに)、知つとても(て居ても) いごくのん(動くのに) つらまし(つらい 面倒だ) のおな(のです)、そげん(そんなに) して寝たる(てやる) と、ねビエ引いて よんべや(昨夜は) 言うて。こたつ入った いどころね するとなあ、ねビエすのなあ(するのです)。いどころ寝して ねビエ 引くど(ぞ) 言う

て。いどころ寝は千両も代えられん言うて、気持な (が) ええもんなあ (よいのです)。いどころ寝のほん寝してして見たい。居所で気持ちよおしとると (して居ると)、こんなり (此の儘) 此所で寝ておきたい事や (だ) 思う時ん (に) 居所寝の本寝な (が) して見たい。

**ねびき (根引) 【名詞】** 根から引き抜くこと [会話] ネビキ してかな (して行かなければ) ちぎってたら (て行ったら) はざんどお (駄目だ) 言うて、小抜きすんの (するの)に 上だけ ちぎったると (てやると) ねえ (根) な (が) 有るとさいご (その時) はざんねてや (いけないのです)。間抜きすん (る) のは ねえごち (根共に) 引くとええんけど (よいのだが)、はあ (葉) だけ ちぎったると (てやると) また、その ねえ から めえ (芽) な (が) 吹いて (出て) 来るやんない (でしょう)、そやもんで (それで) ネビキしとけよお (しておきなさい) 言うて。

**ねぶいち 【名詞】** はれ物 膿包疹 ねぶと のとを十出来ずに一つで済むように (志 (片田、志島)、鳥 (鳥羽)、阿、張) [会話] できもん (出来物 腫れ物) な (が) すると、ねぶとや (だ) 言うて。ねぶとや (だ) 言うて とお (十) も出来る、いくつて (幾つも) 出来て来るとはざんもんで (いけないので) ネブイチ 言うの (のです)。ねぶと 言うて 十も出来てくんねど (来るのだ) 言うて。そやよってん (だから) ネブイチ 言わな (なければ) 言うて 言いおった (言っていました)。ちよいと (少し) おはらいかづいた とこ (所) やろなあ (でしょう)。

**ねぶか (根深) 【名詞】** 1) 葱 ねぎ (志摩市全域、鳥、伊、桑市、桑郡、員、三、四、鈴市、安、津、一、久、松、上、阿、張、度、尾、北、南、熊) 2) 白髪を染めた後、頭髪が伸びて毛根の近くが白くなった状態 [会話] 1) 葱の事をネブカ言う (言います)。“娘 十七、八ちゃ ネブカ の白根 嗅い所い 毛が生える” 言うて 白根は 嗅いやんない (でしょう) そやもんで (それで) 嗅い所い (へ) 毛が生えた 言うて。

**ねぶかぶし (根深節) 【名詞】** 歌の節回しの下手な事 葱に節の無い事から へたな歌 (南) [会話] ネブカ ブシ 節な (が) 無い の (のです)。節よお折らんと (折らないと つけないと) ネブカ ブシ やなあ (だ) 言う。ねぶかは、節な無いよってん (から) 節よお折らんと もんで ネブカ ブシ 言うんやろん (言うのでしよう)。節よおおらん 言うのは、節をよおつけん (つけられない)、棒読みみたよん (のように) こぶしな

(が) 効かせんね (効かないのです)。こぶしな (が) 効かんで (効かなくて) 一本檜 にうとんとんのおを (歌って居るのを) ネブカ ブシ。

**ねぶけ (眠気) 【名詞】** ねむけ ねむい こと 眠むい という気分 [会話] ねぶと (寝むく) になって、ネブケ な (が) して来たよお言うてな、ネブケ な (が) して来て ひとねぶり (一眠り) したんよお (しました) 言うて。ちよいと (少し) ねむと (寝むく) になって来たの (のを)、ネブケ な (が) して来た言うてなあ、ことんと (静かに) しとるもんで (している)ので ネブケ な して来た 賑よとると (賑わっていると) まあ ねぶた (寝く) 無いね (の) けど (だが)。

**ねぶげざまし 【名詞】** ねむけ をさますこと ねむい 気持ちをさまたげること 又その方法や物 [会話] 起きてすぐ、ちよいと (少し) 物、食うたり (食べたり) すんのを (するのを) ネブケ ザマシ 言うやんかい (言います)。

**ねぶた 【形容詞】** 眠い

**ねぶたい (睡) 【形容詞】** 睡い。ネムリ (眠) イタシ (甚) の転 (広辞苑) (志 (浜島、布施田、鶴方、立神)、鳥 (鳥羽 坂手)、伊、桑市、員、鈴市、安、津、久、一、松、多、上、阿、張、名、度、南) [会話] ネブタイ 言うのは ねむたい。おおたまあ (ああ) かいだりて (疲れて)、ネブタイ ヨ (よは希望) 言うて。まあ (もう) 疲れて ネブタイ われ (われ希望、です) 言うて べつんも (特別に) ネブタイ よおななあ (です)。ねむたい なあ言や (言えば)、ええけど (よいのに) ネブタイ 言うて。

**ねぶたがお (ねぶたがほ) (眼顔) 【名詞】** ねむた そうな顔 [会話] めえ (目) しょぼしょぼしとると なあ (していると)、あや (彼は) ま ネブタ ガオ しとられ (している) 言うてなあ。

**ねぶたがりや 【名詞】** いつも眠むいと言って居る人 ねぶた や参照

**ねぶたがる** ねむがる [会話] ねぶたい よお言うて、ねぶり こけると ネブタ ガッテ まあ 言うて、こげん こげん して 漕んどん のな (漕いでいるのが) 有るやんかい (有ります) みやこん どられ、ネブタ ガル 言うて。

**ねぶたげ (眠)** ねむ そうである ねむた そうなさま [会話] ネブタ ゲ 言うな (のは) ねぶと (眠く) になって来た時をなあ、もの すごい (大変) ねぶと になって来てなあ、自然と こして くんなあ (来るのです)。

**ねぶたごえ 【名詞】** 眠そうな声

**ねぶたねえ** 眠く無い [会話] めえなかつたい (目が  
かたい) 言うのは ネプタネエ人を いつ迄 起きて  
しとんの (しているのです)

**ねぶたのおて** 眠くなくて [会話] ねてけ (寝てい  
け) 言うても ネプタノオテ いつ迄 起きとる (て  
いる)。

**ねぶため**【名詞】眠そうな目 (上、阿)

**ねぶたや**【名詞】過度に眠る人 常に眠る気を訴える人  
[会話] ネプタヤ言うな (のは) よお (よく) ねぶる  
(眠る) にげ (人間) な (が) 有るんなあ (有るので  
す)。皆 ねぶたいな (眠いのは) ねぶたいけど (が)、  
そんでも (それでも) 仕事する時や (は) 気な (が)  
張つとて (て居て) めったん (決して) ねぶる こた  
(事は) 無いけど、ねぶる にげ (人) てもな (と言  
うものは) 仕事しこつとても (一生懸命にして居て  
も) ねぶって (寝て)。じつきん (すぐに) ねぶって  
ちよいと (少し) あい (暇) が有ると ねぶりになる  
やんかい (なります)、ネブリタガリヤわい (です)。

**ねぶたやまい**【名詞】唯唯 眠いだけ (志 (布施田))

**ねぶってた** (寝) 1) 寝てしまった 2) 死んだ [会  
話] ① 死んでた時ん (死だ時に) 今し 目 ネブッ  
テタ言うて。

**ねぶってた** 舐めて行った

**ねぶつとる** 寝て居る 眠むって居る [会話] いけだ  
いの人な (が) ネブツトル あい (間) に その舟い  
(へ) 乗ってて (乗って行って) 飯 盗んで 喰うて。

**ねぶつとる** 舐めている

**ねぶと** (根太)【名詞】せつ 皮膚の摩擦に依って化膿  
菌が毛嚢や皮脂腺に進入し、皮下組織に限局性の急性  
化膿性炎症を起したも 次第に発赤し中心に膿栓を  
持つ様になる。(志 (志島 甲賀 片田 浜島 布施  
田)、桑市、員、北) [会話] ネプト とお (十) も  
出来てくんど (来るぞ) 言うて ねぶいち、言や (言  
えば) ええけど (よいが) 言うて よお 言いおった  
(よく言っていました)。そやけど (それだが) 皆  
ネプトや (だ) 言うて 出来もん (物) の事ネプトや  
(だ) 言う。昔や (は) よお (よく) 出来おったの  
(出来て居たのです) ネプトな (が) わしらも (私  
も) よお ひぶくれ (水泡) な (が) 出来おった (出  
来て居ました)。ひぶくれ 豆みたいなのおな (のよ  
うなのが) ぶくつと出来て そんな (それが) 潰れて  
来ると ふさ (蓋 痂皮) な 付いて、かぼ (膿痂  
疹) みたいん (のように) なって、はやりもん (流行  
の物) みたいん して来おったの (来て居たのです)。

ひぶくれな (が) 出来て 来た 言うて、ふち (周り)  
い (に) 赤味 持って 痛い ねてや (痛いのです) ひぶ  
くれは、芋 ぼつか (ばかり) 喰うと、ネプトな  
(が) 出来んど (出来るぞ) 言いおったね (言って居  
たのです)。そやけど (それだが) 考えてみや (見れ  
ば) 今しや (今は) 毎日風呂 入るし、昔や (は) 毎日  
風呂 入る 言うこた (事は) 無い。二日 三つ日あつ  
(で) ひとりげ (他人の家) 入らしてもらい んで (貰  
いに行つて)、せんと (銭湯) 行く 言うても、そげん  
(そんなに) よけ (多く) 行かせんし (行きません)  
不潔 やつたん やるなあ (だったのでしょう)。頭に 虱  
な (が) わく やんない (でしよう)、そすと (する  
と) 掻く やんない そすと つめおぼえ な (が)、  
爪 で かき むし つたる (てやる) やんない。そすと そ  
れから 膿 んで 来て 頭な (が) 一面 に (全体に) かぼ  
になり おったの (膿痂疹になって居たのです)。かぼ  
な (が) 出来 て 頭の髪 も と かれ や せん し なあ (梳け  
ないし) 膿 で、さいと (張り子) みたいん (のよ  
う) な (て)、そつと (すると) その かぼ ん (の) 中  
い (へ) 虱な (が) じゃん じゃん 尻 ほ っ 立て て  
お お た (あゝ) 胸 苦 し か つ た。そして 月 曜 き よ お く  
ん (教訓) や ど け (など) し と る 時 ん (して居る時  
に) 先生 な (が) 話 し と ん の ん (して居るのに) 虱  
な (が) ほ お て 来 て (匍つて来て) と つ て や る と す  
ん な ま あ え (するな) 言うて。皆 虱 わ か し て 虱 な  
(が) ひ な て (日の当る所) お と う わ ば い (上匍  
い上の方に出て来る) して 髪 の 上 ん (に) ほ お と り  
お つ た の (匍つて居たのです)。虱 な (が) う わ ば い  
し と ん ね よ お (して居るのだ) 言うて、取 つ て 前 の  
に げ (人間) へ や る と、す ん な (するな) 言うて ひ  
じ が ね (肘) で 突 い て お こ す。

**ねぶみ** (価踏)【名詞】品物の価格を推しはかる事

**ねぶらかす**【他サ五】1) 舐めさせる 袖の下を送る  
(安) 2) 少し取りつける [会話] ② 昔 や (は) き  
もん (着物) 着 よ お つ た や ん ない (着ていたでし  
ょう)、袖 を 全 部 と す と き れ (布) な (が) よ け (沢  
山) 要 る や ん ない。無い も ん で (ので) こ ん だ け (こ  
れだけ) ば か (ばかり) の 中 に し て、袖 口 い (へ)  
ネブラシテ 品 作 り お つ た (格好よく見せました)。

**ねぶらかす**【他サ五】ねむらす 寝させる [会話] は  
よ (早く) 眠 む ら か し た ら な (させなければ) は ざ ん  
(駄目だ)、寝 や し た ら な (寝ささなければ) は ざ ん  
言うのを、ネブラカシタラ な (なければ) は ざ ん 言  
うてなあ。

**ねぶらす【他サ五】** 寝させる。眠りつかせる。

**ねぶらす** すこしつける [会話] ネプラス 言うな (のは) ちよいと (少し) 付けるのおを ネプラス 言うの (のです)。昔や (は) モスを 一尺こおて (買って) それを はんぶ (半分) 割って すんなだ (するのは) ええねけど (よいんだが)、それを よつわりん (四分の一) して (に) ほん (本当に) ちよいと (少し) ネプラステ しよおったの (して居たのです)。半巾あつ (づつ) すると だいぶ (大分) あんねやんかい (有るのです)。そすと、こんだ (今度) は、袖口い (へ) する モスも 買わな (なければ) はざんやんない (いけないでしょう) そすと それを わきよか (分けようか) 言うて 分けて。

**ねぶらす【他サ五】** 1) 舐めさせる 2) 贈賄する (安)

**ねぶりぐすり【名詞】** 1) ねむり薬 睡眠薬 2) 舐める薬 [会話] <sup>1)</sup> ネブリグスリ 寝やれやせんね (眠れませんのです) 先生 一服 盛ってくれえ (下さい) 言うて 睡眠薬。

**ねぶりこ【名詞】** おしゃぶり ねずりこ参照 (志 (浜島、的矢、越賀)、鳥 (神島、長岡)、上、阿、張) [会話] ネブリコ言うの (のは)、すっころづち (鼓形の槌) みたいんしとんの (のようにして居るのを)。子供ら きい (木) ん (の) のおを (のを) 今の じき (時期) は セルロイド しおったけど (して居たが)、セルロイドで 危ないもんで (ので) やっぱし (矢張り) 木ん のおな (のが) ええ (よい) 言うて、今し木ん (の) の (のを) しとるやんかな (して居るで有りませんか)。木んの (のを) うっとるわい (売って居ます)。ひといきや (一時期は) セルロイドでした らな (しなければ) 言うて、セルロイド危い、噛んだりすると 傷したり、昔や (は) 火焚くよって (から) 火 くべたと (入れてやると) ばあつと燃えて 来るやんない (来るでしょう)。そやもんで (それで) ひといき (一時期) しおったけど そやまあ (それは) 消えてて (て行って) やっぱし (やはり) 木の のおを ええかして (よいと見えて) 木にしとるわい (して居ます)。

**ねぶりごえ (眠声)【名詞】** 眠そうな声

**ねぶりこける【自カ下一】** ぐっすり眠り続ける 正体なく眠りこむ (志 (布施田)) [会話] こつごもん (十二月三十日) なんと、とふ (豆腐) の豆 朝まで えつ (も) ひくねやんかい (潰すのです) 朝方ん (に) なんと ねぶとなって (眠むくなって) 来て

ネブリコケテ、こえん (こんなに) して しとる (している) やんない (でしょう)。そすと、ネブリコケル 言うてなあ、せんぎり (十分) 居眠り しとんの なあ (しているのです) ネブリコケル。

**ねぶりこむ (眠込)【自マ五】** すっかり眠ってしまうぐっすり寝る

**ねぶりすえる** 正体なく眠る よく寝る ねぶりこけるに同じ [会話] ネプリスエル言うな (のは) みや漕 ぐ 言うて、宮い (へ) 漕ぎすえとられ (ている) 言うて 居眠りしとんの をなあ (しているのを)。

**ねぶる【自ラ五】** 1) 寝る (志 (布施田)、桑市、員、三、鈴市、安、上、阿、張、名、北、南) 2) かくれんぼの鬼 3) 死ぬ [会話] <sup>2)</sup> かくれんぼすると、鬼すんのを (するのを) ネブル言うの (のです)。そして、壁ん (に) ひつついて まあええか (もういいか) 言うて、まあええど (もういいぞ) 言うて 捜しんくんやんかい (捜しに行くのです)。つかめられると (捕らえられると) ネブラな (なければ) はざんね (いけないのです)。<sup>1)</sup> ねる ねぶりこけとる (ている)、ねむりこけとられ (ている) 言うて 寝る言うの。 <sup>3)</sup> ネブルで、死んだ 言うのも、まあ めえ (目) ネブッタテナイ (そうだ) 今し (今) 言うてなあ。

**ねぶる【他ラ五】** 1) 舐める (志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、国府)、鳥羽市全域) 2) 馬鹿にする 3) 儲ける [会話] <sup>1)</sup> てえネブル、俺もてえ (手) ネブラシテ くれまあ 言うてなあ。 <sup>3)</sup> 熊は手の平い (に) なんやかや (いろいろ) つけといて (ておいて) 舐めるやんない (でしょう)。そやもんで (それで) 俺も (下さい) 儲けさしてくれ (させて下さい) 言うの (のを)、俺もてえ (手) ネブラシテ くれ まあ (下さい) 言よおった (言っていました)。

**ねべ【名詞】** 寝てする放屁 (志 (布施田)) [会話] 寝とて (寝ていて) へえ (屁) ひん (する) の ねべ、ねべへり (寝屁する人) や (だ)。ねべは臭いね (のです)。

**ねべへり【名詞】** 寝て放屁する人 ねべ参照

**ねほおける (寝惚)【名詞】** 長時間寝て居る [会話] 寝て寝ていくら起しても 一日でも寝とると (寝て居ると) ネホオケル。今日は 日曜やもんで (なので) ネホオケトル (て居る)。寝て寝て 寝っからかすと、ネホオケとんな 言うて 御飯も食べんと 寝とんね (寝て居るのです)。ネホオケとんの (て居るのです)。

**ねぼげごえ【名詞】** 起きてすぐの不明瞭な声

**ねぼけづら** (寝惚面) 【名詞】 ぼんやりした顔つき 起きてすぐの締まりのない顔 [会話] めえ (目) もしょぼしょぼしとるとなあ (していると)、ネボケヅラしてまあ、そや めえ (目) 覚せまあ (覚しなさい) 言うてな、めえ (目) な (が) 覚めんで (なくて) するやんない (でしょう)、それを ネボケヅラ 言うのなあ (です)、朝 起きて来ても まだ めえ (目) な (が) 覚めんの (のを)、ネボケヅラ やなあ (です) 朝 起きてすぐの時と、ねぶとおて (眠むくて) ねぶとおて しよな (仕様が) 無い時も、ネボケヅラ しとて (して) まあ言うて。

**ねぼける** (寝惚) 【自カ下一】 十分目が覚めないでわけのわからない行動をする [会話] ネボケテ、あっちゃ (あちら) や (とか)、こっちゃい (こちらへ) しよんべ (小便) たれん (しに)。

**ねぼさく** (寝坊作) 【名詞】 朝寝坊 またその人 (志 (甲賀)) [会話] ネボサク、朝のねぼはちの娘言うて ネボサク。朝よお起きん (起きられない) もんら を (者を) ネボサク よ言うて。あや (彼は) ネボサク で いくら 起したてて (起しても) 起きんねないし (起きるのでは無い)、そいな (そんな) 時ん (に) ネボサク や (だ) 言う。よい まど おしの 朝寝 こき 言うて よさり (夜) もはよ (早く) 寝るくせん (寝るのに) 朝もよお起きんのお を (起きないのを) よい まど おしの あさ ね こき で どいらい (大変) わり (悪い) 癖 や なあ (だ) 言うて 言うけど (言います)。

**ねぼすけ** (寝坊助) 【名詞】 ねぼさくに同じ 作 助は人名化 (志 (国府、志島、船越、片田、布施田、御座、鶴方、的矢、浜島、越賀、神明、立神、安乗)、鳥 (桃取 坂手 相差 神島 答志))

**ねぼはち** 【名詞】 いつ迄も寝ている人 ねぎたない参照 [会話] いつ迄 寝とるのお は (寝ているのは) ねぼさく や (です)、あや (彼は) ねぼさく や よって (だから) いつん迄 (いつ迄) 寝とんね (寝ている) ねぼさく や とか (だとか) ネボハチ や とか (だとか) ねぼすけ。

**ねほり** はあほり 【副詞】 根本より 枝葉にいたるまで、詳細に しつこく細々と

**ねま** (寝間) 【名詞】 寝室 寝るための部屋 (多、南、熊) [会話] ネマ 勘定、ネマ のもん (物) 言うて、ネマ で どぶろく 搗くの、ネマ のもん や (だ) 言うて、昔 や (は) ネマ へ なんでも 入れおった かして (入れて居たのか) ネマ 勘定 や (だ) 言うて。ネマ の押し 入れえ、大事 のもん (物) は、入れおった なあ (入れて居

ました)。金庫 なんも (なにも) 無い けど (が)、なん かい (なにかえ) 入れて、大事 の もん (物) はネマ い (へ)。錠戸 棚 な (が) こ さ えて あり お った やん かい (作って有ったで有りませんか)、ネマ い (へ)。錠 (鍵) は、落ち る よ お ん (ように) して、そ ん で (それで) ネマ は 家 の主人 な (が) 寝 ると こ ん (所に) して、昔 や なあ (は)、しん し よ (身上) 持 ち ん (に) になると、ネマ い (へ) 寝 お った の (寝て居たのです)。こ ん だ ま あ (今度は) しん し よ 譲 ると 小 寝 間 い でも、何 処 い (へ) でも 寝 て、ほ い て (そうして) 又、若 い しん し よ 持 ち な (が) ネマ い (へ) 寝 る。ネマ い (へ) 錠戸 棚 こ し ら え て (作って) 有 つ て 重 要 な 物 を 其 処 へ 入 れ て、ネマ へ 大 将 (主人) な ば ん (見張り) に寝 る 訳 や (です)。ネマ へ よ け (多く) 入 つ た ら は ざ ん (いけない) 言うて、大事 のもん (物) な (が) 皆 置 い て 有 る。大事 な (の) もん 言 う た て て (言った所で) たい し た もん な (が) の お て も (無くても) 家 に応 じ た もん (物) を 入 れ る よ お ん (ように) ち よ い と し た (ちよっとした) 錠 を 一 つ つ (1ヶ) 入 れ と て (て居て)。錠 の掛 る 戸 棚 な (が) 有 つ て、錠 掛 け て と ん じ ゃ く (気配り) の無 い 家 や (は) なん も 掛 け や へ ん け ど (掛けないが) ほん でも (それでも) 錠 は一 応 掛 け ら れ る と こ (所) な (が) 有 る わ い (有ります)。ち ち ち よ お て も (小さくても) お つ き い て も (大きくても)。押 入 れ ん (の) 中 ん (に) 錠戸 棚 言 う な (のが) こ し ら え て あ つ て (作ってあって) ち よ い と し た (小さな) 筆 笥 み たい ん (のように) ち ち ち や い (小さい) の し と る (して居る) 家 も有 る し な に か な し (どれだけでも) その 家 相 当 の重 要 も ん (物) を 入 れ る だ け の 用 意 に し て 有 り お つ た な あ (有りました)。

**ねまあし** (ねまわし、ねまはし) (根回) 【名詞】 ねまわし、交渉、会議など 事をうまく運ぶために前もって手を打っておくこと、下準備 [会話] ネマ ア シ 言う な (のは) あ れ ん (彼に) ち よ い (少し) と言 い、こ れ ん (此の人に) 言 う と い て (言っておいて) そ し て、ま た こ ん だ (今度は) 改 め て 会 議、し た ご さ え (下準備) し と い て (しておいて) す る 言 う 訳 や なあ (です)。

**ねまかんじょ** (寝間勘定) 【名詞】 船主が明細を水夫らに見せずに適当に給料を支拂う事 [会話] 打 網 し と て、水 夫 ら に分 け た ら ん う ち ん (分けない間に)、わ が と ら な (自分等が) 寝 間 で え つ こ ろ か げ ん に し て 水 夫 ら に や (には) あ て が い 扶 か ん (に) す ん の を

(するのを) ネマカンジョ。正確にせんと (せずに) 説明書き (明細書) せんと すんのを。

**ねまき (根巻) 【名詞】** 元結い [会話] ネマキ、いそまげん (磯曲げた) 結うといて (ておいて) ネマキン なあ (に) 紡績糸やし (です)、昔や (は) さばんこ (情夫) ななあ (が) 繕ってくれた かんじょくり (観世振り) しといてなあ (しておいて) それを みいこ (三本) ん (に) ひねると かっとおお (堅く) なんねてや (なるのです) まあ 糊したよん (ように) なって それを 磯い (へ) おりる (潜る) 時ん (に) 頭 (髪) な (が) ゆるで (ゆるんで) 来んよん (来ないように) ネマキや (だ) 言うて しよおった わい (して居ました)。元結いみたよな (のような) それを ネマキや (だ) 言うて、にりがみ (二厘紙) で、かんよくり (観世振り) しといてなあ (しておいて) またそれ みいこん よると かっとお (堅く) なんね (なるのです) 石みたよん (のように)。 そん な (それが) 水い (に) つけると びんと しとんね やんかい (しているのです)、頭 (髪) のねえ (根) い (に) 巻きつけて しよおったの (して居たのです)。

**ねまのもの 【名詞】** どぶろく しろうま参照 (志) [会話] どぶのこた (事は) ネマノモン (物) や (だ) 言うて 寝間え 隠しとる (ている) もんで (ので)。

**ねむる (眠) 【自ラ五】** 死ぬ。ねぶるの転 ねぶる参照

**ねもと (根本) 【名詞】** 一番の基礎となるもの 一番始め 一番下 [会話] きい (木) の ネモト、ネモト とか 髪のネモトとか、ネモトい (へ) 付けん (ない) よお 染めえ (なさい) 言うて。うらもた切れても ネモトは切れん言うてな、おぼんこ (情婦) と おじんこ (情夫) と一緒に 口だけ切れても ほんもん (本物) な (が) 切れやせんのなあ (切れないのを)。

**ねもの (寝物) 【名詞】** 夜這い 性交 ねものさがす参照 [会話] よさり (夜) やられんの (されるのをー性交) 盗まれる事

**ねものさがす** 夜這いしに行く [会話] ねもの言うて よばん (夜這い) しん (しに) 行くのやわい (のです)。ネモノサガス 夜這いしんいて (しにいて) わりこと (悪いこと) しといて (しておいて) くんね (来るのです)

**ねや 【名詞】** 泊まり屋 若い者が集まり寝るところ 寝宿の略か (志、鳥、度) [会話] ネヤ言うのな (が) 有って、泊り屋 若い衆 布団一枚持つて、家のお

つきい (大きい) 家内の (家族) すけない (少ない) 家ん (に)。

**ねや** 寝れば ネヤええない (寝ればよろしい)

**ねや 【助動詞】** のだ [用例] 泣いとんネヤ (泣いて居るのだ)。

**ねやいて** 1) 寝させて下さい (鳥) 2) 寝させてやる [会話] 1) 寝やして (寝させて) 言うの、ネヤイテ言う人な有るやんかい (有ります)。寝かして言うのを ネヤイテくれ (下さい) 言うてなあ、わしも (私も) 今日は此処い (へ) ネヤイテくれえ 言うてなあ。

**ねやざった** 寝なかった (志) [会話] 寝やなかった (寝なかった) 言うのを、なんも (少しも) おらまあ (俺は)、よんべ (昨夜) 寝やれらった (寝れなかった) 言うてなあ。朝迄よお 寝やんと (寝ずに) おらまあ ねやれらった ネヤザッタ言うてなあ。

**ねやざって** 寝なくて (志)

**ねやす (寝) 【他サ五】** 1) 寝かす ねかせる 寝つく ようにする 眠る ようにする (志 (浜島)、鳥、桑市、桑郡、四、鈴市、津、久、一、松、多、阿、張、名、度、伊、北、尾、熊) 2) 立って居る物を横にする 3) 同衾させる [会話] 1) ネヤス こお (子) ネヤスとか、3) さばんこ (情夫) おじ (情夫) ネヤス言うて、泊りん来んのを (泊りに来る)。 泊り屋 寝えん (寝に) いたり (行ったり)。

**ねやす (寝) 【他サ五】** 発酵 熟成させるため、適当な温度の所に長期間おいておく。(鳥 (国崎)、上、阿) [会話] 味噌豆を蒸して来ると 豆 ネヤスのん (のに) 表 (部屋) を、あらけとかな (空けておかなければ) はざんわれ (いけない) 言うて。豆を蒸してもおて (貰って) 来ると 味噌を、四斗樽一杯仕込むやんない (でしょう) ほすと (すると) 豆を二斗つ (づつ) 蒸してもらうと、よつけ (沢山) あんねやんかい (有るのです)。それを 表い (へ) 粟のからひいて (敷いて)。表 言うとこ (所) な (が) 有って 座敷や (とか) 寝間や (とか) 言うねなしん (言うので無くて) なんやかや (色々) ざつび (雑品) 置くと こ (所) やなあ (です)。 そんで (それで) その下い 芋つぼ (芋の貯蔵所) 掘って。表い (へ) 豆 ネヤスのん (のに) 言うて 豆 蒸してネヤシテ そいて はな (糶) 付けんねやんかい (付けるのです)。上いも 蓆おそて (おそって) 糶のはなやなしん (でなくて) くろおい (黒い) 味噌豆のはな 微みたいな (のような) はな あれ 付けんのん (付けるのに) 粟がら 敷いて ぬくとおして (暖かくして) はな 付か

すのん (のに) ネヤスねん (のです)。粟がらするとうぐいすばな な (が) 付いて きいよい (黄色い) うぐいすの羽みたいな (のような) 色な (が) つくねてや (つくのです)。粟がら しとく (しておく) と うぐいすばなで いいはなな つくし、藁やなんやかや敷くと なんやら (なにか) くろい (黒い) よおな くろばな な (が) 付いた言うて、味噌な (が) くろろおて (黒くて) うぐいすばななつくと 味噌な赤味噌ん (に) なるて。

**ねやせる** 寝せる 寝させる (志、四、鈴市、安)

**ねやだった** 寝なかった (志) [会話] だって言う ざって言う人と、らって、だって言う人と、寝やらって言う人と ネヤダッテ 言う人と ネヤダツタ 言う人も有るしなあ。

**ねやだって** 寝なくて ねやだった参照 (志)

…**ねやった** だった のだった [用例] 行くネヤツタ (行くのだった)。

…**ねやって** だって のだって (熊)

**ねやな** 寝なければ (南) [会話] 朝 早よ起きんならんよってん (から)、はよ (早く)、ネヤナはざんわれ (駄目だ) 言うてな、はよ寝よ (寝なさい) 言う事を、早や寝 早や起き 早助け。早よ寝て、早よ起きて、早よ助ける、昔の人ら 早や糞 早や飯 早や助け言うて 早よ飯食うて 糞も長くおらんと (居ずに) 早よ助けな (なければ) 言う意味や (です)。

…**ねやなしん** ので無くて [用例] あつかい (赤い) ネヤナシン ああおいねやれ (青いのです)。

**ねやなんだ** 寝なかった (志)

**ねやへん** 寝ない (度)

**ねややった** 寝なかった (志)

…**ねやら** のか [用例] 何処い (へ) 行く ネヤラ わからかれ (判らない)。

**ねやらった** 寝なかった。眠れなかった。(志) [会話] 眠むられなかった言う事なあ ネヤラツタ。

**ねやらって** 寝なくて [会話] ネヤラツテ、ねぶたい よお (眠い) 言うてなあ、よんべ (昨夜) まあ よが なよおじゅう (一晩中) ネヤラツテ ねぶとおて (眠くて) 言うて。

…**ねやれ** のだ [用例] 用事な (が) 有って 伊勢行くネヤレ。

**ねやれかった**。**ねやれざった** 寝れなかった (志) 眠れなかった。[会話] 眠むれなかった言う事なあ ネヤレカツタ。

**ねやれて** 寝られて (鳥) [会話] ネヤレテ 言うのは

よお (よく) 寝た言う事、ま よお ネヤレテ 朝迄ぐっすり寝たよお (寝ました) 言うのな (です)、よお ねやれたよお言うね。

**ねやれなかった** 寝れなかった (志) 眠れなかった。

**ねやれやせん** 寝れない (志) 眠れない。[会話] ネヤレヤセン 言うな (のは) 眠りにつきの (に) くい言う事やなあ (です) 眠むられやせん (ない)。

**ねやれやせんかった** 寝れなかった 寝なかった (志) 眠れなかった。

**ねやれやった** 寝られなかった (志) 眠れなかった。

**ねやれらった** 眠むれなかった 寝なかった (志) [会話] 寝やれやせん (寝られない)、ネヤレラツタ 言うのも 朝迄 起きとた (ていた) 言う訳や (です)、ねやだった 言うても、それも一緒やし (です)。

**ねやれんかった** 眠れなかった (志)

**ねやれんで** 眠れなくて 寝れなくて (志) [会話] 朝迄、めえ (目) あいとた (あいていた) ネヤレンデ、ねやらった (寝なかった) も一緒やなあ (です) ねむりつけなかった 言う事やなあ (です)。

…**ねやろなあ** のでしょう だろう [会話] めえな めえのくい (目が見えぬくい) ネヤロナア。

**ねやん** 寝ない (四、一、鈴市、松、多、上、張、度、北、尾、熊)

**ねやんか**。**ねやんかい**。**ねやんかな** (女性語)。**ねやんかれ** 寝なさい [会話] ネヤンカ 言うな (のは) はよ (早く) ネヤンカ、風邪引くとはざん (いけない) とか、湯冷めな (が) くんのん (来るのに) とか言うてな、早く寝なさい言う事や (です)。

**ね、やんか**。**ね、やんかい** でないか、のだ、のです [用例] 用事な (が) 有って、行くネヤンカイ。

**ねやんかな** (女性語) 1) 寝なさい (志) 2) のです

**ねやんかった** 寝なかった (志)

**ねやんだ** 寝なかった (志)

**ねやんと** 寝ないで、寝ずに

…**ねやんな** でしょう 芝居見に行くネヤンナ (尾)

**ねよ** 1) 寝なさい (安、度) 2) 寝ます [会話] 1) ネヨ 言うのも 早く寝なさい言う事や (です)、はよ (早く) ネヨ まあ言うてな。目下のもん (者) に言う時ん (に) まあ、はよ ネヨ そげん (そんなに) ねぶりこけとらんと (居眠りしていなくて) まあ はよ ネヨ 言うてなあ。

…**ねよって**。…**ねよってん** だから [用例] 泣くネヨツテ。

**ねよてや** 寝なさい てやは勧告 命を表す (志 (布

施田)

ねよや 寝ましよう

ねよやあ 1) 寝なさい おやすみなさい 2) 別れの挨拶

ねらい (ねらひ) (狙) 【名詞】 ねらう 目標 目的  
[会話] あの人のネライは かのたなあ (かなった)、あの人、あれをねるとたや (ねらっていたら) まあ、ネライな (が) かのたなあ 言うて。あのかあ (子は) ええ (よい) 子やなあ (だ)、あんな (彼女を) 嫁ん (に) 欲しなあ (欲しい) おもて (思つて) ねるとたや (ねらっていたら) そんな (それが) かなうとなあ、思いな (が) かのて (かなつて) よかつたなあ言うて ネライも思いも一緒やもんなあ (です)。

ねらいすます (ねらひすます) (狙澄) 【他サ五】 十分に狙う。

ねらう (ねらふ) (狙) 【他ワ五】 ある事柄を目的としてめざす 又試みる [会話] こいな (こんな) のおな (のが) ほしなあ (欲しい) おもて (思つて) これねるとんね (ねらっているのだ) 言うて。的をネラウ言うて 真ん中い (へ) 此のやあ (矢) を 当てな (なければ) おもて ねがめとんの (睨らんでいるのを) ネラウ言うて。

ねらかす 決断をしない。愚図愚図している。じらす。  
[会話] 愚図愚図しとんのを (しといるのを) 愚図ついとんのを (ているのを) はつきりせえまあ (しなさい) 言うのも、ネラカス。ネラカシトテ (ていて) まあ、そえん (そんなに) いつ迄 ネラカシトラント (ておらずに) せんかれ (しなさい)。いつ迄、そげん (そんなに) ネラカシトンネド (かしているのだ) 言うてなあ。

ねらしとる じらして居る 承知して時間を遅らせる

ねらす じらす 決断が出来ない。ぐずぐずして居るためらう [会話] 今日は漁師な (が) ネラシトル (て居る) 言うて、わがとらも (自分達も) 外へ出てく (出て行く) 時ん (に) こおやつて (こうして) こおいてこお (行って来ましょう) なんやかや (何彼) して ねちこち しとるやんない (して居るでしょう)。それを、ネラス言うて。じよおし (漁師) や磯人 (海女) な (が) 出て来て、今日ほどおかいなあ 行ても (行つても) ええけど (好いが) 波な (が) えらいなあ (荒れて居る) とか なんとか 言うて いいぐさ (文句) 言うて 行くの (のを) みあわしとると (見合す ためらつて居ると)、磯人もネラシトラレ (て居る) 今日。家を出る時ん (に) なつちやかつ

ちや (何彼) と、ごてごてしとると (していると) ネラシトテ (て居て) 家 出んのな (出るのが) おっそいなあ (遅い) 言うて。

ねらみあい。ねらみやい 【名詞】 1) ならめっこ 睨めっこ 子供の遊び 互に洗面を作つて向いあい、先に笑い出した者を、負けとする。(北) 2) 喧嘩[会話] 1) ねらみっこしよおか ニラミアイする言うのを ネラミアイ、ねらみこ 言うて。海でしおあびとて (海水浴して居て) 海ん (の) 中で 目あいて (開いて) ねらめこすんの (します)。ほいと (すると) 潮 (海水) な (が) 目え入つて 目な (が) しよかるおて (塩辛くて) 真つ赤ん (に) なるて。ネラミアイも、ねらみこも一緒や (です)。

ねらみこ 【名詞】 ならめっこ ねらみあいと同じ [会話] ネラメコ しよおか 言うて ならみこ 睨みやい。

ねらみやい 【名詞】 ならみあい ねらみあい参照 (北)

ねらむ 【他マ五】 ならむ 睨む 厳しい目付でじつと見る 鋭く見つめる (志 (鶴方、浜島、御座、片田、国府、神明、立神、志島、甲賀、安乗)、鳥 (相差 国崎 桃取 鳥羽)、員、三、鈴市、鈴郡、安、津、一、松、多、度、伊、尾、南、熊) [会話] 人を ぎろつと 見ると、ネラム言うて、ねらめられて おとしかつたよお (怖かつた) 言うて。ごおなわくと (腹が立つと) ねらめて、口で言わんと (ずに) 目で ねらめてしとると (して居ると) やらして (いやらしくて) ねらめられたよお 言うて。ねらめる (睨む)、ネラム ねらめて ぎろぎろ と言うて。ねらめとると (て居ると) べつんも (特に) いやらしなあ (いやらしいのです)。ねらめられたんよお (ました) 言うて、わり (悪い) 事すると 口で言わんと (ずに) 目でぎろつと しておこして ねらめられた 言うて。

ねらめこ 【名詞】 ねらみこと同じ

ねらめる 睨む (志 (布施田 片田 船越 志島)) [会話] 俺を ぎろぎろ、ネラメテ、憎いめえ (目) と言うて。ごおなわいとん (腹が立つ) のかして (のか) 俺 見ると ネラメテ 言うてな。睨める言うの ネラメル 言うの (のです)。

ねられえで 寝れなくて (志) 眠れなくて。

ねられやせん 寝れない。眠れない。

ねられらつて 寝れなくて。眠れなくて。[会話] 人な (が) 来て ネラレラツテ ねそびれたよお (寝損じた) 言うやんかい (言います)。

ねられんで 寝れなくて (志)

**ねらわれる** 【動詞】 様子を狙われる 目標にされる

**ねり** 【名詞】 祭りなどの時、踊りの行列など練り歩いてする行動 (伊) [会話] 山田の大祭り 新道い (に) ネリな (が) 出んね (出るのだ)。

**ねりぐすり** (練薬) 【名詞】 薬剤を蜜蜂 水飴などでねり合わせて作った薬 ねりやく [会話] ネリグスリ言うな (のは) 練った薬。ネリグスリこしらえよおった (作って居ました) やんかい (です)。膏葉みたよななあ (のような) 練ってあんのをなあ (有るのを)。

**ねりもん** (練物) 【名詞】 1) 練り固めて作った物 特に羊羹など 2) 粉末を、練り固め宝石、珊瑚などに似せたもの [会話] 2) ネリモンでこさえて (作って) あんね (有るのだ) 言うて、なんやかや (いろいろ) を、練ってこさえて (作って) あんのを (有るのを)。こや (これは) ネリモンやどお (だ) ほんもん (本物) や (で) ないんどお (のだ) 言うてなあ。べっこお みたよん (のように) なって、べっこおはきいと透きとおんねけど (るのだが) ねりもんは透きとおらせんもんでなあ (ないので)。こや ほんもんや (で) ない、ネリモンやなあ (だ) 言うて。べっこおまがわして (にせて) あんねけどなあ (有るのだが)。1) 羊羹やあいな (あんな) もん (物) も、ネリモン あれも練ってあんねよってなあ (有るのだから) あれもネリモンやわいなあ (です)。

**ねりもん** (練物) 【名詞】 祭礼などの時、町中を練り歩く行列や山車

**ねりやく** (練薬) 【名詞】 諸種の薬剤を調合し、蜜蜂 水飴等で練り固めたもの ねりぐすり参照 [会話] 桶屋のおぼんこげ (小母様の家)、真っ黒な ネリヤク みたいな (のような) 味噌やった (だった)。

**ねる** (寝) 【自ナ下一】 1) 男女が同食する 2) 物が倒れる [会話] 1) 昔の人ら (は) 抱かれる言うよおな事 言わせんなあ (言いません) そや (それは) ネル 言いおった (言っていました)。

**ねるよりらかなよにあるか** おきて はたらくあほもある 【俚諺】 寝るのが最も楽で有ると言う意味 (志 (布施田))

**ねれとる** 練れている、物にも心にも言う

**ねろて** 狙って (三、多)

**ねろとる** 狙っている うかがって居る

**ねん** (念) 【名詞】 1) 思いが届く 思い 2) 丁寧な気持 [会話] 2) ネンな (が) いつとんなあ (入って居る) 言うて、丁寧な仕事すると。ネン入りの仕事しとんなあ (して居る) 言うて、大工もこや (此れわ)

ネン入れてしてくれたんかして (してくれたのか) じつばな (立派な) 仕事やなあ (だ) 言うて。約束する時でも、ネン入りにしといて (しておいて) 来たか言うて ネン押ししといたか (ておいたか) 言うて。

**ねん** (年) 【名詞】 年期 一定期間 [会話] 奉公に行くネンがあいた、ネンづとめや (だ) 言うて、ネンな (が) あくまで つとめな (なければ) 言うて。

**ねん** 寝ぬ 寝ない ぬは んとよく発音される (志、鳥、員、安、多、度)

**ねんあけ** (年明) 【名詞】 奉公人の期間が終わる事

**ねんがとどかん** 1) 心配りが足りない 2) 思いがとどかない

**ねんがとどく** 1) 思いが届く 2) よく気がつく 丁寧に仕上げて有る

**ねんがらねんじゅう** (ねんがらねんぢゅう) (年年中) 【副詞】 一年中 いつも (志 (浜島、布施田) [会話] 子供の時分 (頃) にや (には) ネンガラネンジュー脛に傷の無い時や (は) 無かったのん (のに)。

**ねんき** (年忌) 【名詞】 人の死後、毎年めぐって来る命日 又その日に行う法要 回忌 (志 (浜島、鶴方)、鳥 (国崎 坂手 答志)、上、阿、張、名、南) [会話] 法事の事もネンキ、菩提言うて 法事すんのを (するのを)、ネンキ。菩提も とおて (吊らって) もらわんと (もらわずに) 言うて、よおせんと (出来ない) さいご (その時)、ネンキ菩提もよおとわんと (しなくて) 言うて。

**ねんき** (年季、年期) 【名詞】 1) 労働契約の期間 2) 長い経験 (上、阿) [会話] 1) 奉公しとて (て居て)、三年なら 三年勤めると ネンキな (が) あいて言うて。

**ねんきもん** 【名詞】 時代を経た立派な物 [会話] ネンキモン言うな (のは) 年季な (が) 経つとんの (ているのを)、年数な (が) よけ (沢山) 経つとる (ている) のもなあ ネンキモンやなあ (だ) 言うて。

**ねんぎよおじ** (ねんぎやうじ) (年行司) 【名詞】 代表者一年ごとに交替して勤める役 [会話] ネンギヨオジや (だ) 言うの (のは)、海女の大將して その人ら相談をして 今日はやすまか (休もうか) とか、此の潮 (時期) は、どおしよおか 口あけ (採収日) はいくか (何日) にしよおか言う事を 相談役をネンギヨオジや (です)。ネンギヨオジに相談して言うて。網かけも言うのお (言います)。

**ねんこお** (年功) 【名詞】 1) 年上の人 2) 多年にわたる功績 [会話] 1) 年の功言うのを 亀の甲より年

の功 ネンコオ言う時も有るけどな (有ります)。

**ねんごお【名詞】** 年月の長い事 [会話] ネンゴオな (が) よけ (沢山) 経つとんねなあ (ているのだ) 言うてな、何年も経つとんのをな (ているのを)、ネンゴオな (が) よけ 経つとんね 言うけどなあ (言います)。

**ねんしまいり【名詞】** 年始廻り、年始の挨拶に各家を訪問すること [会話] しょんがっつ (正月) は男らな (が) ネンシマイリや なんや言うて するもんで (するので) 忙しし (忙しい) 盆はしょおろさん招待すので (するので) 盆な、おなごら (女) な (が) 忙しめ (忙しい目) 張りおったわい (して居ました)。

**ねんじゅう (年中)【名詞】** いつも

**ねんじる (念)【他ザ上一】** 常に心にとめて思う 強く願って思い続ける。[会話] ネンジル言うな (のは) 祈る、神さんえ お願いする事をなあ、神さんえ ネンジテ たので (頼のんで) 言うて 佛さんにネンジルとか、神さんにネンジルとか頼む事をなあ。

**ねんたい【名詞】** 年中 いつも [会話] ネンタイ よさの (夜の) おせきしょ (晩酌) 飲むと、酒代も よおかせがんと (稼せがないで) おって (居て) 言うて、かかな (妻が) ぼやくのなあ (不平を言うのです)。

**ねんだい (年代)【名詞】** 時代 世代 同じ年令 または近接する年令の人の過ごした頃 [会話] あの人の ネンダイにゃ (には) こげな (こんな) 事しよおったんかいなあ (していたのだろうか)、わしらな (私達の) ネンダイになつてから こげな事 しやせんけど (しないが) 言うてなあ。時代の事やわいなあ (です)。時代とか 頃とか あの人らな (が) ネンダイは そげん (そんなに) しよおったん (して居た) やろど (のでしょう) 言うやんかい (言います)。

**ねんだいもん【名詞】** 時代を経た立派なもの 古い物 [会話] 長い事 経ったもん (物) をなあ、年代な (が) 経ったもんやなあ (だ)。ネンダイモンやなあ 言うてな こぶつ (古物) を見ると 言うやんかいなあ (言います)。わりもん (悪い物) でも、年数な (が) 経つとや (ていれば) まあなあ、こげん (こんなに) うちやれとるけど (壊れているが) ネンダイモンや (だ) ネンダイモンやよつて (だから) こげん うちやれて (壊れて) 来たんやれ (来たのだ) 言うてなあ、年な (が) よけ (沢山) 経つとる (ている) もんで (ので)。

**ねんづとめ【名詞】** 年季奉公 期限を定めて働くこと

ねん (年) 参照

**ねんで** 寝なくて

**ねんでえ** 寝ますよ

**ねんと** 寝ずに

**ねんど** 1) 寝るだろう 2) 寝ますよ

**ねんどお** 寝ますよ

…**ねんなあ** ですよ いて来た (行って来た) ネンナア

**ねんなあく** 奉公の期限が終わる ねんき 年季参照 (志 (布施田))

**ねんない (年内)【名詞】** 一年中 いつも (志) [会話] 昔や (は) すねな (が) 無事でおるこた (事は) 無かった。ネンナイ 傷しとりおったの (していたのです)。

**ねんなたつ** 古くなる、年を経る

**ねんなのこる** 未練が有る (志 (布施田))

…**ねんに** のです [会話] すんネンニ 言うてなあ、此処へ行く ネンニ とかなあ、行く ねんなあ (のです) 言うのを 行くねどお (のだ) 言う人も有るしなあ。

…**ねんにい** のです

**ねんね【名詞】** 1) 寝ることを言う幼児語 2) 乳児 赤ん坊 (志 (布施田) 3) 2) から転じて年令以下の幼稚な行動をした時子供を叱る時の言葉

**ねんねこ【名詞】** 子供を背負う四角い綿入れ又は布、或は子供を背負う絆纏 ねんねこ ぼんてんの略 (志 (布施田)、員、津、松、上、阿、張、名) [会話] ネンネコ 子供 負ぶ ま四角の紐付けとる。あれ かめのこ (亀の甲) 言う人も有るし、ネンネコや (だ) 言う人も有るし (有ります)。ネンネコ言うとき 袂の付いとる (付いている) あれをネンネコ。

**ねんねん【名詞】** 毎年毎年 年毎に (志 (布施田))

**ねんの** 寝るのです [用例] おや ネンノ (私は寝るのです)。

**ねんのか。ねんのかい。ねんのかな (女性語)** 寝るのですか [用例] まあ (もう) ネンノカイ。

**ねんのか** 寝るのです 寝なさい

**ねんばり【副詞】** 柔かく 粘りつくさま (志 (布施田)、南) [会話] よましむぎな (が) とんぼの頭みたいなの (のようなのが) ころころしとんの (しているのです) ばさばさとして それい (それへ) 芋 入れて そと (すると) ネンバリ となって うまかりおったけど (うまかった) 芋、麦飯。

**ねんびやくねんじゅう (ねんびやくねんぢゅう) (年百年中)** 一年中 いつも [会話] ねんじゅう、一年中、ねんがらねんじゅう 言う (言います)。ねんがらね

んじゅう 休み無し 働いて言うて。ねんがらねんじゅう あの ひた (人は) 寝とる (て居る) てやら (とか)、ねんがらねんじゅう どこそこい (へ) いとる (行って居る) てら (とか)、他所行きしとる (している) てら 言うて。一年中言う事を ねんがらねんじゅう。ネンビヤクネンジュウとも言う。ねんがらも、ネンビヤクも一緒や (です)。

**ねんぶつばあさん。ねんぶつば**【名詞】念佛を稱える婦人(北、熊) [会話] 念佛申して貰らう人をなあ、ネンブツバアサン 頼のまな (なければ) はざんなあ (いけない) 言うてなあ。